

認定特定非営利活動法人  
**ボルネオ保全トラスト・ジャパン**  
(BCTJ)

〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-8

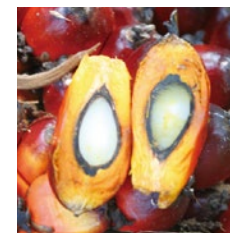
Tel ■ 03-3471-4966

URL ■ <http://www.bctj.jp>

Facebook ■ <https://www.facebook.com/bctjapan>

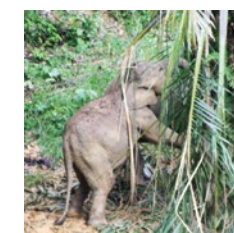
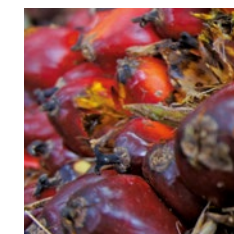
Twitter ■ <https://twitter.com/bctjapan>

E-mail ■ [info@bctj.jp](mailto:info@bctj.jp)



# 2018

## パーム油白書



定価 **600円** (本体556円+税44円)

発行：2019年2月

**BORNEO**  
**CONSERVATION**  
**TRUST**  
認定特定非営利活動法人  
**ボルネオ保全トラスト・ジャパン**

## はじめに

パーム油とパーム核油の生産量はついに7500万トンを超え、主要17油脂の生産量の約3分の1を占め、国際市場に出回る5大植物油の約3分の2の量を占めています。パーム油とパーム核油は、世界の人口約75億人を支えていくために必要不可欠な植物油といえます。

パーム油・パーム核油の生産の急速な拡大に伴い、アブラヤシ農園の面積は年々増大し、熱帯雨林の伐採、泥炭地の開拓が進み、自然環境の破壊、生物多様性の喪失が深刻な問題となっています。

その解決のために、「持続可能なパーム油のための円卓会議（RSPO）」は認証油制度をスタートさせ約10年、クレジット方式の認証油（B&C）への切り替えは着々と進み、欧米などの先進的な企業ではより基準の厳しい認証油（IPやSG、マスバランス）に切り替えることが課題となっています。今回は、参考のために世界的に有名な企業の取り組みがわかるACOPレポートを紹介しました。

2018年のRSPOの総会では、5年ごとの“原則と基準”の改定と、小規模農家（小農）の認証取得推進に関心が集まっていました。

日本でも、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会の調達基準で“パーム油は認証油を使う”ことに決まり、RSPOに加盟する企業は急激に増え110社を超えました。

また、2018年、3回目の日本での“持続可能なパーム油会議”が開かれ、300人を超える企業・団体が参加しました。その席で日本版RSPOともいえるJaSPOKの立ち上げが宣言され、2019年に活動を開始することが決まりました。

今後も人類がパーム油・パーム核油を資源として利用していくためには、持続可能な方法を実践しなくてはなりません。

多くの方に読んでいただけると幸いです。

パーム油白書編集委員会（中西宣夫、青木崇史、森井真理子）

## Part 1

# 知識編

## CONTENTS-1

RSPO／RT15報告

RSPO／RT15の焦点は、審査基準の改定と小農のRSPO認証取得でした…P4～P5

ACOPレポート調査

ネスレ、P&G…世界的な有名企業は着々と認証油に切り替えています…P6～P7

シンポジウム報告

JaSPOC2018～ポストオリンピック、2030年パーム油調達を見据えて…P8～P9

RSPOの日本加盟企業

2018年、RSPOに加盟した日本企業は110社を突破しました…P10～P11

認証マーク商品調査隊

認証マークがついた商品を町のスーパーや薬局、コンビニで調査…P12



# RSPO / RT15の焦点は、審査基準の改定と小農のRSPO認証取得でした

5年ごとに行われる持続可能なパーム油生産の審査基準の改定では、森林破壊ゼロの方針が強く押し出されました。また、昨年に引き続き、小農のRSPO認証取得にも関心が集まっています。

文 / 中西宣夫 (サラヤ株式会社調査員、BCTJ理事)

RSPO (持続可能なパーム油のための円卓会議) が主催する定例会であるRT15は、世界のパーム油産業界からの850名以上が参加して、2018年11月12~15日にマレーシア・サバ州の州都コタキナバルで開催されました。13日には9つの準備分科会、14日は3つの全体集会、15日は2つのセッションがもたれサバ州の副首席大臣とRSPOの共同議長のスピーチでプログラムを終えました。

その後、15日の午後からは第15回RSPO会員総会 (GA15) が行われました。

## RSPO P&C(原則と基準)改定

RSPOでは5年に一度持続可能なパーム油の審査基準を見直しますが、今回の主な改定は以下の通りです。

- \* 泥炭地の新規開発の禁止…2018年11月以降、泥炭の深度に関わらず禁止
- \* 泥炭地に開発されたプランテーションが再植栽する場合は、排出性評価を5年以上前に行くこと

専門家からは、炭素固定や河川氾濫の緩衝作用など泥炭地の機能について詳しい説明がありました。

### \* 森林破壊ゼロ

森林保護は世界的な意識の高まり、さまざまな取り組みにも関わらず、毎年1300ha以上の森林が失われてきました。失われた森林は熱帯雨林が大部分を占めその跡地はパーム油や牛肉、大豆などの農畜産物のために開発されてきました。今回の改定ではこういった森林地域の開発は禁止され、森林破壊ゼロの方針を強く打ち出しました。

### \* 二次林の伐採禁止

特筆すべきは二次林の伐採禁止です。今までの認証基準では、二次林は一度人

間の手によって開発された森であるということ、伐採、その後の開発は認められていました。

しかし、今回は二次林も生物多様性が豊かで、炭素貯蔵の役割も果たし、地域住民の暮らしには欠かせないものであると、その価値が再評価され、伐採禁止になりました。

審査は、高炭素貯蔵アプローチ (HCSA) という方法で行われるので、RSPO-HCSA合同運営委員会が設置されることも確定しました。

### \* 労働者の人権保護の強化

移民、契約労働者、女性、子供など弱者の保護が強化され、過剰な労働や強制労働、賃金の適正化などに厳しい規制が加わりました。労働者の不当な仲介料や、借金による自由の拘束、労働者のパスポートの強制徴収も禁止されました。この新たな原則と基準の草案は、RSPO第15回総会 (GA15) で、反対票19に対して212の賛成票を得て採択されました。

## パーム油生産における小農の重要性

RSPOは小規模農家 (小農) を50ha以下の個人農園と定義していますが、ここ2~3年RTでは小農にかかわる問題が多く取り上げられていました。

というのは、小農はパーム油の総生産量の40%を生産しているにも関わらず、RSPO認証を受けている小農はマレーシアで0.2%未満です。RSPO認証制度を広く普及させるには、小農の参加が必要です。

小農のRSPO認証取得を促すことができれば、認証油の流通量を増やすことができ、環境保全、生物多様性保全にも良

い影響を与えることになります。

小農の大きな問題点は生産性が低いことです。小農の収穫量は1haあたり粗パーム油約2.4~2.5トン/haであり、プランテーション企業の5トン/haの半分、世界平均の3.6/haトンにも及んでいません。

認証取得のための過程で、小農も合理的な農園運営を学ぶことができ、収穫量が上がることも期待できます。

小農をRSPOシステムの中に取り込んでいくことの重要性が、多くのセッションで繰り返し強調されていました。

## 準備分科会②「小農の回復力を強化する」の報告

小農をグループにまとめて認証取得を支援しているNGO、ワイルド・アジアは、「小農が認証取得をめざすときの最初の難関は土地の合法性を証明する書類を整えることです。小農グループを組織化し認証取得するには、グループのリーダーやモデル農家をまず育てることが肝要です」と強調しました。

インドネシアの中堅プランテーション企業であるムシマスのプロジェクト・マネージャーのRob Nicholls氏は、「小農との協力で重要視しているのは、収量を上げるための技術や情報を提供することです。収量が上がれば農家のモチベーションもおのずと上がり、企業としては認証油の量も増え、ウィンウィン関係を築くことができます」と話していました。

グループ別セッションでは小農の集まりに私は参加しました。

インドネシアの農家の方は「自分の農地の合法性を証明するために集める書



分科会2のグループ別セッション。小農の集まりでは活発な意見がかわされました。

類は数十枚にも及ぶ。それだけ集めるだけでも大変なのに、申請する相手である役人がRSPOについての認識がなく、一人の普通の農民がなぜそんな書類を必要としているのかということが理解できず、手続きにも非協力的である」と訴えていました。

小農が個別で認証取得を目指すことの難しさを示す多くの事例がここで提示されました。小農の認証取得の普及にはNPOや企業との連携が欠かせないといえるでしょう。

## 準備分科会④ 地域認証におけるアプローチ

この分科会では、開催地であるサバ州の政策構築に関してサバ州森林局のFrederick Kugan氏の発表がありました。「サバ州では、森林被覆率は61%、保存林と保護地区は52%、全面保護地区は24%です。アブラヤシの農園は154万ha、約20%で、パーム油の大生産地になっています。現在サバ州産のパーム油の24%がRSPO認証、22.4%がMSPO認証を取っていますが、サバ州政府はRSPO、MSPOとも100%取得を目指しています」と政府の方針を改めて表明しました。

## 地域認証アプローチの構築支援

全体会議4 地域認証アプローチの構築支援では、ユニリーバから、特定地域で地域農民をまとめ、グループとして認証獲得するプロジェクトについての事例報告がありました。その中でサバ州ではタワウやスグットを対象地とし、生態系の回廊や河岸の植生回復が目標に掲げられていました。

## RT15 プログラム

11月12日

### 歓迎レセプション

テーマ:「市場の変革を達成するための新たな取り組み」

11月13日

### 準備分科会①

#### 持続可能性のリーダーシップ: 政策、実践、パートナーシップ

- 持続可能な景観保全のためのコミュニティ・パートナーシップ
- 社会的HCV<sup>注1</sup>の救済および補償手続のためのガイドライン
- 管理のための測定: グローバルフォレストウォッチによる森林破壊のリスクへの対処
- パーム油関連のNGO同盟

### 準備分科会②

#### 小農 (小規模農家) の回復力を強化する

- パーム油の持続的生産を目指す小農支援 - ワイルド・アジアのアプローチ
- アフリカの独立小農の包括的なモデル - NedOil シエラレオネ

### 準備分科会③

#### サプライチェーンの目標と進捗状況

- RSPOの地域目標と進捗状況
- RSPOクレジットによる小農サポート
- 市場変革のためのRSPO進捗と推進者に関するNGOの反応
- 成功した市場転換: ドイツの例

### 準備分科会④

#### 地域認証によるアプローチ: 持続可能で森林破壊のないパーム油の提供

- 地域認証: 中央カリマンタンのセルヤン地区における持続可能で包括的なパーム油生産のための道筋
- マルチステークホルダーガバナンス連合による政策構築と構造的弾力性
- 堅牢で強制的な土地利用計画に向かうエクアドル

### 準備分科会⑤

#### 研究課題: 5Wと1H

- RSPOの影響について理解する: オプションを探る
- 森林被覆とオランウータンに対するRSPO認証の影響の評価: ボルネオの視点から
- 小農の土地利用計画におけるRSPO認証の影響
- 行動のための研究課題 - 5Ws & 1H

### 準備分科会⑥

#### 保証! 十分にできているか?

- 改訂版RSPO認証システム文書の関連要素
- NPP<sup>注2</sup>検証における挑戦と機会
- RSPO認証の評価の最新情報

### 準備分科会⑦

#### 新興市場における責任ある消費と生産

### 準備分科会⑧

#### 森林破壊の停止と泥炭地の保護・保全

- 市場の視点から見た、森林伐採の停止と泥炭地保護の重要性
- RSPO P&Cにおける「森林伐採ゼロ」への取り組み: 高炭素ストックアプローチ
- HCV-HCSA<sup>注3</sup>アセスメント
- 泥炭: P&C 2018における栽培者に要求される条件
- 排水性評価手続きによる泥炭地の再植栽の実現可能性の評価

### 準備分科会⑨

#### 公開協議: DSF<sup>注4</sup>の調停手続きを通じた旅

11月14日

### RT16開会式

開会の辞 ダレル・ウェーバー RSPO事務局長  
基調講演 カイ・チャン ブリティッシュコロンビア大学教授

### 全体会議①

#### RSPOの原則と基準2018: 新着情報

### 全体会議②

#### 小農認証の簡素化 - 神話が現実か?

### 全体会議③

#### 持続可能性: 産業と消費者を動かすものは何ですか?

11月15日

### 全体会議④

#### 地域認証アプローチの構築支援

- 市場のテコ入れに制限がある場合、銀行や投資家はどのような役割を果たせば圧力をかけることができるか?
- 2025年までに地域認証アプローチを進展させるための、革新的な持続可能な調達とは?
- 長期的なイニシアチブが長期的な成果をもたらすとすれば、地域認証アプローチの価値は短期的にどのように判断すべきか

### 全体会議⑤

#### 苦情処理システムの拡大

### 閉会の挨拶

バングリマ・ウィルフレッド・マディウス・タンガウ サバ州政府副首席大臣  
閉会の辞 カール・ベック・ニールセン RSPO共同議長

### RSPO総会15 (GA15)

注1 HCV=High Conservation Value 保全価値の高い森林  
注2 NPP=New Planting Procedure 新しい植林手順  
注3 HCSA=High Carbon Stock Approach 高炭素貯留アプローチ  
注4 DSF=Dispute Settlement Facility 紛争処理機構



# ネスレ、P&G...世界的な有名企業は着々と認証油に切り替えています

RSPOのACOPレポートは正会員、賛助会員が毎年提出する義務があります。2017年は1453団体のうち396団体がレポートを提出しています。今回は、有名な大手企業12社のACOPレポート2017を見てみました。

## 読み応えのあるACOPレポート

ACOPレポートは、パーム油・パーム核油などのパーム油関連の使用量、認証油の使用量、調達先、100%達成目標など明らかにしています。

「記述に関してはあくまでも企業の申告通り」だそうですが、12社とも使用量、認証油使用量、目標、目標達成できなかったときはその理由などを書き込んでいます。安易に比べることはできませんが、情報開示という面では日本の企業も見習ってほしいものです。使用量など実態がわからなければ、消費者としては判断材料がなく、どう行動すべきなのか判断できません。

また、12社のレポートをみると、環境保全、認証油制度を普及させるための道筋などRSPOとは違う考え方を展開し

ている企業もあります。パーム油の問題は全体像が見えにくいですが、レポートを複数読むことで問題点も見えてきます。

## 大手企業の切り替えはかなり進んでいる

認証油は、①IP/SG ②MB (マスマランス)③B&C(ブックアンドクリーム)に大別されます。B&Cは認証制度が根付くまでの暫定的な制度で、RSPOでは実効性のあるMB以上の認証油を次に取り組むべき課題としています。

12社のACOPレポートをみると、認証油100%を達成している企業も多くあり、現段階ではMB以上を目指す動きが目立ちます。100%達成してきていない理由として、MBに切り替える過渡期のため、核油からの抽出物が入手しにく

いなどがありました。

## 認証マークの使用についての見解はさまざま

RSPOのサイトを見ると認証マークを許可したライセンスは788あると書かれています。製品の画像が掲載されているのは数十点です。https://rspo.org/members/trademark/trademark-products-gallery

12社のレポートでは、認証マークについては考え方は様々でしたが、現時点で全社的に使用する予定がある社はないようです。

あまり積極的でない理由としては、「消費者が認証マークに関心がない」「認証マークは商業的にメリットがない」「自社製品はいかなるロゴもマークもつけない」などがありました。

## 有名企業12社のACOPレポート2017から

[表の読み解き方] 核油関連~核油抽出部室、派生品=パーム油関係の派生品 B&C①=搾油工場などによるB&C B&C②=小農によるB&C 使用量の単位はトン

### P&G

80か国に約13万人の従業員を抱える世界的な消費財メーカー。パンパース、アリエール、バンテン、プリングルスなど紙おむつから洗剤、シャンプー、食品まで多くのブランドを持ちます。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	24,136	372,149	-	138,951
<b>合計</b>	<b>535,236</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	603	-	-	2,730
B&C②	-	-	-	-
MB	23,533	29,999	-	86,634
SG	-	-	-	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>24,136</b>	<b>29,999</b>		<b>89,364</b>

加入年:2010年 認証油使用開始年:2012年  
100%切り替え年:2014年  
MB以上切り替え年:2020年  
認証マーク:使用予定なし



### ネスレ

スイスに本社がある世界最大の食品会社。20万人の従業員がおり世界で展開していない国はないほど。ネスカフェ、ミロなど、コーヒー、飲料水、栄養食品、冷凍食品を展開しています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	315,099	144,137	-	-
<b>合計</b>	<b>459,236</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	-	-	-	-
B&C②	-	-	-	-
MB	-	-	-	-
SG	82,801	6,430	-	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>82,801</b>	<b>6,430</b>		

加入年:2009年 認証油使用開始年:2010年  
100%切り替え年:2023年  
MB以上切り替え年:2025年  
認証マーク:使用予定なし



### ロレアル

フランスに本社がある世界最大の化粧品会社。化粧品、ヘアカラー、ヘアケアなどの分野でランコム、ロレアルパリ、ザ・ボディショップなどさまざまなブランドを持っています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	360	-	73,969	-
<b>合計</b>	<b>74,329</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	-	-	36,161	-
B&C②	-	-	73	-
MB	-	-	37,508	-
SG	360	-	227	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>360</b>		<b>73,969</b>	

加入年:2007年 認証油使用開始年:2010年  
100%切り替え年:2012年  
MB以上切り替え年:2020年  
認証マーク:使用予定なし

### ユニリーバ

世界有数の消費財メーカー。ラックス、ダヴ、ジフ、クノール、リプトンなどヘアケア、洗剤、食品など多彩に展開。インドネシアにはパーム油加工工場も持っています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	643,496	231,014	-	435,318
<b>合計</b>	<b>1,309,828</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	-	-	-	-
B&C②	5,232	416	-	-
MB	343,731	53,825	-	200,590
SG	100,081	38,807	-	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>449,044</b>	<b>93,048</b>		<b>200,590</b>

加入年:2004年 認証油使用開始年:2009年  
100%切り替え年:2012年  
MB以上切り替え年:2019年  
認証マーク:使用予定あり

### クラフト・ハインツ

2015年、チーズで有名なクラフトフーズと、トマトケチャップやスープ缶詰の老舗ハインツが合併し世界有数の食品会社になりました。いずれも米国発祥の企業です。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	5,001	3,220	-	571
<b>合計</b>	<b>8,732</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	1,860	-	-	-
B&C②	200	-	-	-
MB	2,466	3,220	-	571
SG	475	-	-	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>5,001</b>	<b>3,220</b>		<b>571</b>

加入年:2007年 認証油使用開始年:2010年  
100%切り替え年:2017年  
MB以上切り替え年:2020年  
認証マーク:個々のブランドで判断

### マース

1911年に設立された米国の大手食品メーカーです。スニッカーズやM&M's、ミルクウェイなどのチョコレート菓子、カルカンやベディグリーなどのペットフードを展開しています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	58,165	16,058	-	7,611
<b>合計</b>	<b>81,834</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	-	-	-	-
B&C②	-	-	-	-
MB	58,165	16,058	-	7,611
SG	-	-	-	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>58,165</b>	<b>16,058</b>		<b>7,611</b>

加入年:2010年 認証油使用開始年:2010年  
100%切り替え年:2013年  
MB以上切り替え年:2013年  
認証マーク:使用予定なし

### ペプシコ

米国に本社がある世界第2位の食品会社で、200か国で活動しています。ペプシコーラで有名なペプシ、トロピカーナ、ゲータレード、クエーカーオーツなど飲料、食品を展開しています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	450,451	5,084	-	-
<b>合計</b>	<b>455,535</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	303,859	5,084	-	-
B&C②	-	-	-	-
MB	146,592	-	-	-
SG	-	-	-	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>450,451</b>	<b>5,084</b>		

加入年:2009年 認証油使用開始年:2015年  
100%切り替え年:2020年  
MB以上切り替え年:2020年  
認証マーク:使用予定なし

### ケロッグ

1906年にコーンフレークを作り始め、1922年にケロッグ社と改名した米国有数の食品メーカー。グラノーラ、コーンフレークなどのシリアル、菓子、加工品を展開しています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	66,524	6,877	-	-
<b>合計</b>	<b>73,401</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	22,262	-	-	-
B&C②	-	-	-	-
MB	37,109	6,876	-	-
SG	6,790	-	-	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>66,161</b>	<b>6,876</b>		

加入年:2008年 認証油使用開始年:2011年  
100%切り替え年:2011年  
MB以上切り替え年:2020年  
認証マーク:2013年から一部製品に使用

### ダノン

パリに本社を置くヨーグルトの工業化に初めて成功した大手食品メーカーです。現在は乳製品のダノン、ボルヴィックやエビアンなどのミネラルウォーターなどを世界的に展開しています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	61,986	2,306	-	-
<b>合計</b>	<b>64,292</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	-	-	-	-
B&C②	-	-	-	-
MB	26,389	1,844	-	-
SG	35,597	462	-	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>61,986</b>	<b>2,306</b>		

加入年:2011年 認証油使用開始年:2011年  
100%切り替え年:2015年  
MB以上切り替え年:2015年  
認証マーク:2019に向けて検討中

### マクドナルド

ハンバーガーを主力商品とする世界最大のファストフードチェーン。1940年に米国で設立され、ドレイプスルーなどで急成長し、現在は世界に37000店舗を展開しています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	119,919	5,654	-	1,396
<b>合計</b>	<b>126,969</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	78,506	171	-	745
B&C②	-	-	-	-
MB	39,695	5,482	-	485
SG	1,416	-	-	167
IP	302	-	-	-
<b>合計</b>	<b>119,919</b>	<b>5,653</b>		<b>1,397</b>

加入年:2011年 認証油使用開始年:2012年  
100%切り替え年:2020年  
MB以上切り替え年:2020年  
認証マーク:使用予定なし

### コルゲート・パーモリーブ

ニューヨークに本拠地がある米国の消費財メーカーで、歯磨き剤、石けん、洗剤、ペットフードなどを展開しています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	40,221	33,693	-	72,906
<b>合計</b>	<b>146,820</b>			

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	8,885	3164	-	25,544
B&C②	-	-	-	-
MB	31,336	28,078	-	3,463
SG	-	-	-	-
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>40,221</b>	<b>31,242</b>		<b>29,007</b>

加入年:2007年 認証油使用開始年:2013年  
100%切り替え年:2015年  
MB以上切り替え年:2020年  
認証マーク:現時点では使用しない

### フェレロ

1946年に創業のイタリアの食品メーカー。ヌテラなどのパン用のクリーム、キンダーエッグやフェレロ・ロシェなどのチョコレート菓子、清涼飲料などを世界的に展開しています。

使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
	-	100	-	203,700
<b>合計</b>		<b>203,800</b>		

認証油使用量	パーム油	パーム核油	核油関連	派生品
B&C①	-	-	-	-
B&C②	-	-	-	-
MB	-	-	-	-
SG	-	100	-	203,700
IP	-	-	-	-
<b>合計</b>		<b>100</b>		<b>203,700</b>

加入年:2005年 認証油使用開始年:2009年  
100%切り替え年:2015年  
MB以上切り替え年:2015年  
認証マーク:使用予定なし





# JaSPOC2018 ~ポストオリンピック、2030年パーム油調達を見据えて

持続可能なパーム油会議、Japan Sustainable Palm Oil Conference (JaSPOC)は2018年10月22日に行われました。オリンピック委員会の調達方針で認証パーム油が決定されたこともあり、多くの企業から高い関心を集めています。

## ますます高まる認証パーム油への関心

2017年に続き、3回目になる日本での“持続可能なパーム油会議”が、東京のイイノホールで開かれました。150社、300人を超える企業/団体からの参加があり、関心の高さがうかがえました。以下、シンポジウムの概要です。

## 小規模農家の改善サポート戦略

小農支援を行うNGO・Wild AsiaのReza代表の講演では「生産者の認証への取り組みは、20%が熱心に取り組む層、70%は標準的に取り組む層、10%が何も取り組んでいない層です。トップランナーだけ頑張ってもよい結果は得られません。認証を実効性があるものにするには、大多数を占める中間層の引き上げが重要です。小農は認証を取りたくないのではなく、RSPOへの理解や手続き、費用の点などで取れないのです。Wild Asiaは小・中規模農家を対象に、彼らの声に耳を傾けつつ、トレーニングや審査、報告、実践などさまざまな支援をしています。今までに小農やグループ認証など1100以上の認証を取りました。ネスレやP&G、不二製油などの企業と協働しています。企業はサプライヤーからトレーサビリティの報告を受ける、搾油所や農園から直接認証クレジットを購入できるなどのメリットがあります」と発表しました。

## 農園での人権を考える

インドネシア農園労働者組合Serbundo会長は「世界最大のパーム生産国インドネシアの農園労働者は1440

万人ですが、過酷な労働環境に置かれています。賃金は毎月約2万円で、ノルマはきつくと達成できないと罰則があり、家族が手伝ってもその分の手当は出ません。肥料や農薬の散布、除草などは日雇いで、60%は女性が担っています。国際規格では禁止されている農薬なども使われ健康被害もでています。2016年、RSPOの苦情処理委員会に北スマトラのINDFOOD社の労働実態を訴えたところ、2018年に会員資格が凍結されていました。

しかし、RSPOの苦情処理モニタリングだけでは労働者を完全に守ることは困難です。RSPO加盟のパーム油購入企業は、違反している農園に対して罰則や圧力をかけるべきだし、金融機関はそういった企業への投融資は再検討されるべきです」と訴えました。

## パーム油のサプライチェーン透明化を目指して

インドネシアの大手パーム製造企業Apical社からは「弊社はパーム油取扱量が680万トン、持続可能な油、認証油、追跡可能な油の需要に応えるためにシステムを構築しました。個々の企業でトレーサビリティを担保すると手間もコストもかかるので、生産者、サプライチェーン、メーカーが協力して“SUSTAIN”というシステムを2018年9月にスタートさせました。ビットコインなどで使われているブロックチェーンを利用して、オンラインでトレーサビリティを追うことができます。今は花王やネスレと協働していますが、今後は多くの企業が参加することを期待しています」と説明しました。

## 2020年東京オリパラ大会のパーム油調達コード

東京オリンピック・パラリンピック委員会からは「2018年6月、オリンピック大会史上初のパーム油の調達基準を公表しました。日本の現状をふまれば理解促進・意識啓発から取り組むこと、認証油の調達がゴールではなく生産現場がよくなること、大会後も続けていく継続性のあるものにするのが重要です。ISPO、MSPOにはまだ新しく実効性に問題がある一方で、RSPOにも課題があり3つの認証に扱いに差をつけることは困難ということで、ISPO、MSPO、RSPOをいずれも認証基準として採用しました。今後の課題は事業者・消費者への普及浸透、認証油を使用した製品情報の普及と考えています」と発表されました。

## パーム油認証制度の紹介

Control Union社の担当者は「弊社は森林、エネルギーなどさまざまな認証を行っています。パーム油に関してはRSPO、MSPOの認証を行っています。RSPOは国際認定サービスで任意制ですが、MSPOはマレーシア標準局(DSM)が認定した基準で2020年までに国内の農園に認証を取ることを義務付けています。双方とも認証基準は類似していますが、RSPOは全般的によりきめ細かいスキームを設けています。MSPOはRSPOより厳しい基準もありますが、サプライチェーン認証は2018年10月にスタートしたばかりなどまだ整っていない面もあります」とパーム油の認証制度の説明がなされました。

## プログラム

**主催** JaSPOC実行委員会  
**協賛** 味の素株式会社、イオン株式会社、MS&ADインターリスク総研株式会社、花王株式会社、株式会社コープクリン、株式会社Control Union Japan、サラヤ株式会社、三洋化成工業株式会社、株式会社資生堂、昭栄薬品株式会社、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン、太陽油脂株式会社、月島食品工業株式会社、日油株式会社、日清オイリオグループ株式会社、日清食品ホールディングス株式会社、日本生活協同組合連合会、不二製油株式会社、ミヨシ石鹸株式会社、株式会社明治、森永乳業株式会社、ライオン株式会社  
**協力** 一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)、グリーン購入ネットワーク(GPN)、合同会社西友、ダーボン・オーガニック・ジャパン株式会社、Ecological Economic Solutions Sdn. Bhd.

<b>12:00</b> 開場、受付開始	<b>14:55-15:25</b> パーム油認証制度の紹介 Mr. Cheah Chi Ern (Control Union [Malaysia] Sdn. Bhd. Scheme Coordinator)	<b>16:50-17:50</b> パネルディスカッション「2020年、その先を見据えたパーム油調達の実践」 ファシリテーター：二村睦子氏(日本生活協同組合連合会組織推進本部部長) スピーカー：吉川 慎一氏(サラヤ株式会社購買統括部購買4部 部長) 田中 秀輝氏(花王株式会社執行役員 購買部門統括) 太田 史生氏(味の素株式会社広報部 シニアマネージャー) 兀下 博昭氏(森永乳業株式会社生産本部調達部一般原材料調達グループ長) 和間 久美恵氏(合同会社西友企業コミュニケーション部 バイス・プレジデント)
<b>13:00-13:10</b> 開会挨拶 JaSPOC実行委員会	<b>15:25-15:35</b> 質疑応答	<b>17:50-18:00</b> 閉会挨拶 JaSPOC実行委員会 司会 竹下智集氏(ダーボン・オーガニック・ジャパン株式会社)
<b>13:10-13:40</b> 小規模農家の改善サポート戦略 Dr. Reza Azmi (Wild Asia代表)	<b>15:35-15:45</b> 持続可能なパーム油の調達 Best Practice表彰 簡井隆司氏(公益財団法人世界自然保護基金ジャパン事務局長)	
<b>13:40-14:00</b> 最新レポート：農園での人権を考える Mr. Herwin Nasution (インドネシア農園労働者組合Serbundo会長)	<b>15:45-16:00</b> 休憩	
<b>14:00-14:30</b> パーム油のサプライチェーン透明化を目指して Mr. Bremen Yong (Apical [M] Sdn. Bhd. Director of Sustainability)	<b>16:00-16:20</b> シンガポールおよびアジア圏におけるパーム油の取組—SASPO Ms. Maggie Lee (Southeast Asia Alliance for Sustainable Palm Oil 事務局 / WWF Singapore)	
<b>14:30-14:45</b> 質疑応答	<b>16:20-16:50</b> Japan Sustainable Palm Oil Network (JaSPON) 立上宣言・事例報告 田中 秀輝氏(花王株式会社執行役員 購買部門統括) 太田 史生氏(味の素株式会社広報部 シニアマネージャー)	
<b>14:45-14:55</b> 2020年東京大会におけるパーム油の調達基準について 日比野佑亮氏(公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会総務局持続可能性部持続可能性事業課長)		

## WWF「パーム油の調達 Best Practice」表彰

ベスト・プラクティス2018として、スマトラサイ賞・サラヤ株式会社、ボルネオウンピョウ賞・株式会社創健社、スマトラゾウ賞・日本生活協同組合連合会、オランウータン賞・花王株式会社の表彰が行われました。

## シンガポールおよびアジア圏におけるパーム油の取組—SASPO

東南アジア持続可能なパーム油同盟(SASPO)事務局は「東南アジアではパーム油産業に750万人も携わり、パーム油製造企業ビッグ4のうち3社がシンガポールをベースにしています。2015年インドネシアにおける広範囲な火事によって、大規模な煙害(ヘイズ)がシンガポールに深刻な健康被害を起こしましたが、これを解決するには持続可

能なパーム油が必要とWWFシンガポールと5社でSASPOを2016年立ち上げました。2017年からの1年で会員も3倍に増え、大きな広がりを見せています」と語りました。

## JaSPON立上宣言・事例報告

花王株式会社、味の素株式会社が各社の事例紹介の後、日本における持続的なパーム油調達を推進するためのJaSPONの立ち上げが宣言されました。活動は、情報共有・意見交換、プラットフォーム機能、国内外への情報発信、認証制度などドステークホルダーとの交渉などで、2019年1月発足、4月からの活動開始予定との発表がありました。

## パネルディスカッション「2020年、その先を見据えたパーム油調達の実践」

最後のセッションでは、日本生活協同組合連合会によるファシリテーター、サ

ラヤ株式会社、花王株式会社、味の素株式会社、森永乳業株式会社、合同会社西友の担当者が登壇し、各社の調達方針、そこに至る経緯、社内体制について話されました。「社内全体で取り組まないと難しい」「核油などは少量だと調達が難しい」「オリンピックがきっかけとなって行政の後押しがあるとやりやすい」「食品では味、安心、安全に消費者の関心が集まり持続可能な調達にはあまり意識がいかない」「消費者が持続可能な調達を求めてくれるとやりやすい」「認証油を使用した場合の費用負担はどうするのか」「認証マークをつけることが必ずしもアピールにならない」など、さまざまな意見と問題点があげられ活発な議論が繰り広げられました。

日本の企業の認証パーム油に対する関心の高まり、実践に踏み出す意欲を感じた1日になりました。今後の企業の取り組みが期待されます。



# 2018年、RSPOに加盟した日本企業は110社を突破しました

RSPOに加盟する日本企業は急増しています。2017年には77社でしたが、2018年には110社、140%の伸びです。ここでは、RSPOに日本として登録されている企業のリストを掲載しました(2018年11月時点)。2018年12月に、イオン(株)とスジャータめいらく(株)が加盟しました。

## 消費財製造

- 味の素(株)**  
加9-Aug-12 賛正会員 Wajinomoto.com A○
- (株)コープクリン**  
加24-Jul-06 賛正会員 Wchuokasei.co.jp A○
- (株)ダイセル**  
加28-Aug-18 賛正会員 Wdaicel.com A-
- 第一工業製薬(株)**  
加24-Jul-14 賛正会員 Wdks-web.co.jp A○
- (株)不二家**  
加27-Aug-18 賛正会員 Wwww.fujiya-peko.co.jp A-
- ハウス食品グループ本社(株)**  
加14-Jan-18 賛正会員 Wwww.housefoods-group.com A-
- 花王(株)**  
加3-Apr-07 賛正会員 Wkao.co.jp A○
- キュービー**  
加28-Aug-18 賛正会員 Wkewpie.co.jp A-
- ライオン(株)**  
加26-Mar-06 賛正会員 Wlion.co.jp A○
- 雪印メグミルク(株)**  
加10-Jul-18 賛正会員 Wmeg-snow.com/english A-
- (株)明治(ホールディングス)**  
加17-Mar-16 賛正会員 Wmeiji.co.jp A○
- ミマスクリーンケア(株)**  
加31-Aug-10 賛正会員 Wmimasu-cc.co.jp A○
- 三井化学(株)**  
加16-Sep-15 賛正会員 Wmitsuichem.com A-
- 森永乳業(株)**  
加22-Mar-18 賛正会員 Wmorinagamilk.co.jp/english A-
- (株)ニチレイ**  
加13-Aug-18 賛正会員 Wnichirei.co.jp A-
- (株)ニイタカ**  
加2-Jun-17 賛正会員 Wniitaka.co.jp A-
- 日光ケミカルズ(株)**  
加20-Feb-18 賛正会員 Wwww.nikkol.co.jp/corporate/outline.html A-
- 日本サーファクタント工業(株)**  
加15-Jan-18 賛正会員 Wns-utsunomiya.com A○
- 日清食品ホールディングス(株)**  
加22-Oct-17 賛正会員 W記述なし A-
- エスピー食品(株)**  
加22-Oct-17 賛正会員 Wsbfoods.co.jp A-

- 三洋化成工業(株)**  
加14-Aug-13 賛正会員 Wsanyo-chemical.co.jp A○
- サラヤ(株)**  
加12-Jan-05 賛正会員 Wsaraya.com A○
- (株)資生堂**  
加10-Aug-10 賛正会員 Wshiseidogroup.com A○
- 長谷川香料(株)**  
加28-Jun-18 賛正会員 Wt-hasegawa.co.jp A-
- 太陽油脂(株)**  
加25-Mar-11 賛正会員 Wtaiyo-yushi.co.jp/en A○
- タカナン乳業(株)**  
加24-Jun-16 賛正会員 Wtakanashi-milk.co.jp/englishpage A○
- 高砂香料工業(株)**  
加10-Sep-17 賛正会員 Wtakasago.com/en/index.html A-
- 玉の肌石鹸(株)**  
加12-Oct-12 賛正会員 Wtamanohada.co.jp A○

## パーム油製造・流通

- (株)ADEKA**  
加26-Sep-17 賛正会員 Wadeka.co.jp/acs A-
- クレアジャパン(株)**  
加16-Nov-18 賛正会員 Whttp://www.creajapan.jp/ A-
- 不二製油グループ**  
加8-Sep-04 賛正会員 Wfujioliholdings.com/en A○
- 伊藤忠商事(株)**  
加13-Jun-06 賛正会員 Witochu.co.jp A○
- 岩瀬コスファ(株)**  
加10-Apr-17 賛正会員 Wcosfa.co.jp/english A-
- (株)J-オイルミルズ**  
加31-Oct-11 賛正会員 Wj-oil.com A○
- バイオマス発電(株)**  
加22-Nov-18 賛正会員 Whttp://japanbiomass.co.jp/index.php A-
- カナダ(株)**  
加14-Dec-17 賛正会員 Wuniversal.kaneda.co.jp A-
- (株)カナカ**  
加17-Aug-17 賛正会員 Wkaneka.co.jp A-
- 研光通商(株)**  
加2-Jul-17 賛正会員 Wkenkoco.com A-
- 岸本木材(株)**  
加10-Sep-18 賛正会員 Wki-wood.com A-

- 喜多組商事(株)**  
加17-Jul-18 賛正会員 Wサイトなし A-
- 小倉合成工業(株)**  
加5-Jun-18 賛正会員 Whttp://www.kokuragousei.co.jp/ A-
- 高級アルコール工業(株)**  
加10-Sep-17 賛正会員 Wkenkoco.com A○
- 小松屋(株)**  
加3-Oct-18 賛正会員 Wkomatsuya.co.jp A-
- 興和(株)**  
加30-Dec-15 賛正会員 Wkenkoco.com A○
- (株)小桜商会**  
加31-May-18 賛正会員 Wkozakura.co.jp A-
- 丸紅(株)**  
加22-Feb-15 賛正会員 Wmarubeni.com A○
- 丸善薬品産業(株)**  
加27-Aug-12 賛正会員 Wmaruzen-chem.co.jp A○
- 丸善石油化学(株)**  
加7-Nov-16 賛正会員 Wchemiway.co.jp/index.html A○
- 三菱商事(株)**  
加4-Aug-04 賛正会員 Wmitsubishicorp.com A○
- 三菱ケミカル(株)**  
加7-Nov-17 賛正会員 Whttps://m-chemical.co.jp/en/index.html A-
- 三井物産(株)**  
加11-Mar-08 賛正会員 Wmitsui.co.jp A○2015
- ミヨシ油脂(株)**  
加21-Sep-17 賛正会員 Wmiyoshi-yushi.co.jp A-
- 新日本理化(株)**  
加9-Jul-15 賛正会員 Wnj-chem.co.jp/en/index\_en.html A○
- 日華化学(株)**  
加13-Nov-17 賛正会員 Wnicca.co.jp/04corp/index.html A-
- (株)日本発電工業**  
加27-Aug-18 賛正会員 Whttps://www.nakazawa.co.jp/ A-
- (株)日本触媒**  
加26-Jul-16 賛正会員 Wshokubai.co.jp A○
- 日油(株)**  
加15-Oct-12 賛正会員 Wnof.co.jp A○
- 太田油脂(株)**  
加14-Jan-18 賛正会員 Whtaoilmill.co.jp/company/english A-

リストの見方は以下の通り。  
■ 会員資格 正会員 (Ordinary Member) はパーム油のサプライチェーンに関係するビジネスに関わる組織 (NGOも含む) が対象で、総会での投票権、すべての情報へのアクセス権を有します。年会費は2000ユーロです (小規模農家は別)。準会員 (Supply Chain Associate) は、

- オレオトレード・インターナショナル(株)**  
加22-Mar-18 賛正会員 WNo websie A○
- 汎アジア貿易(株)**  
加19-Oct-17 賛正会員 W記述なし A-
- 理研ビタミン(株)**  
加12-Jan-16 賛正会員 Wrikenvitamin.jp A○
- 幸商事(株)**  
加26-Mar-17 賛正会員 Wsaiwai.co.jp A-
- 阪本薬品工業(株)**  
加14-Sep-12 賛正会員 Wsy-kogyo.co.jp A○
- 昭栄薬品(株)**  
加21-Jan-17 賛正会員 Wshoei-yakuhin.co.jp A-
- 昭和産業(株)**  
加17-Jul-18 賛正会員 Wshowa-sangyo.co.jp A-
- 双日(株)**  
加11-Feb-14 賛正会員 Wsojitz.com A○
- (株)創窓堂**  
加24-Oct-18 賛正会員 Wsousoudou.com A-
- 太陽化学(株)**  
加14-Feb-17 賛正会員 Wtaiyokagaku.com A○
- 日清オイリオグループ(株)**  
加14-Sep-12 賛正会員 Wnisshin-oillio.com A○
- 豊田通商(株)**  
加28-May-15 賛正会員 Wtoyota-tsusho.com/english A○
- 月島食品工業(株)**  
加24-Oct-14 賛正会員 Wtsukishima.co.jp A○
- 植田製油(株)**  
加11-Sep-17 賛正会員 Wuedaoil.co.jp A-
- 横関油脂工業**  
加27-Aug-18 賛正会員 Wyokozeki-yushi.jp A-
- ゼロワットパワー(株)**  
加29-Nov-18 賛正会員 Wzerowattpower.co.jp/e-index.html A-
- パームオイルエナジー(株)**  
加22-Nov-18 賛正会員 Wpalmoil.co.jp A-

## サプライチェーンアソシエイト

- ADEKAケミカルサプライ(株)**  
加18-Oct-12 賛SCA Wadeka.co.jp/acs A-
- アサヒグループホールディングス(株)**  
加29-Dec-16 賛SCA Wwww.asahigroup-holdings.com/en A○

パーム油のサプライチェーンに関わるが、パーム油関連の取扱量が年間500トン未満の組織です。総会への出席はできませんが、投票権はありません。限定された範囲の情報アクセス権があります。年会費は100ユーロです。賛助会員 (Affiliate Member) はパーム油ビジネスに関連のない組織、個人が対象ですが、日本には

- 旭化成ファインケム(株)**  
加20-Feb-18 賛SCA Wwww.asahigroup-holdings.com A-
- 千葉製粉(株)**  
加30-Aug-16 賛SCA Wchiba-seifun.co.jp/english/index.html A-
- 大東化成工業(株)**  
加8-Feb-17 賛SCA Wdaitokasei.com A-
- (株)ファンケル**  
加10-Jul-18 賛SCA Wfancl.co.jp A
- オノエングループ/合同酒精(株)**  
加18-Mar-16 賛SCA Woenon.jp A-
- 池田薬草(株)**  
加10-Sep-17 賛SCA Wikedayaakusou.co.jp A-
- 兼松ケミカル(株)**  
加18-Apr-17 賛SCA Wkccjp.co.jp A-
- 化成品商事(株)**  
加16-Aug-18 賛SCA Wwww.kaseihin.co.jp A-
- 川研ファインケミカル(株)**  
加6-Apr-12 賛SCA Wwww.kawakenfc.co.jp A-
- 研三商事(株)**  
加17-Jul-18 賛SCA Wkensan.co.jp A-
- キリンホールディングス(株)**  
加19-Feb-18 賛SCA Wkirin.co.jp/company/english A-
- (株)光洋商會**  
加29-Dec-16 賛SCA Wkoyojapan.jp A○
- (株)マンダム**  
加29-Mar-18 賛SCA Wwww.mandom.co.jp/english/csr A-
- マツモト交商**  
加12-Jul-18 賛SCA Wmatsumoto-trd.co.jp/en A-
- 三好化成(株)**  
加8-Oct-18 賛SCA Whttps://miyoshikaseigroup.com A-
- 森下仁丹(株)**  
加8-Oct-18 賛SCA Whttps://jintan.co.jp A-
- 長瀬産業(株)**  
加29-Aug-17 賛SCA Whttps://nagase.co.jp/english A-
- 中沢乳業(株)**  
加31-Oct-15 賛SCA Whttps://www.nakazawa.co.jp/ A-
- 日東物産商事(株)**  
加28-Aug-18 賛SCA Wnittobussan-corp.co.jp A-
- (株)リベレーション**  
加13-Aug-18 賛SCA Wwww.revelation.co.jp/ A-

いません (2018年11月)。  
■ ACOP (Annual Communications of Progress) は、パーム油、パーム核油、パーム油派生品の使用量、認証油の使用量、達成目標、認証マークの使用などについて、正会員と賛助会員が提出する年次報告書です。ただ、加盟して1年以内はACOPレポートの提出は免除されます。

- 齋藤食品工業(株)**  
加20-Jun-16 賛SCA Wsaito2298.com A-
- 三和油脂興業(株)**  
加17-Nov-15 賛SCA Wsanwayushi.co.jp A-
- 三洋貿易(株)**  
加9-Nov-17 賛SCA Wsanyo-trading.co.jp A-
- 正栄食品工業(株)**  
加26-Aug-16 賛SCA Wshoefoods.co.jp A-
- (株)創健社**  
加10-Sep-17 賛SCA Wsokensha.co.jp A-
- 一般社団法人ハンドメイド石けん協会**  
加28-Aug-18 賛SCA Whttps://sekken.info A-
- 当栄ケミカル(株)**  
加27-Apr-16 賛SCA Wtoeichemical.co.jp A-
- 東北化学薬品(株)**  
加18-May-16 賛SCA Wt-kagaku.co.jp/en A-
- 東振化学(株)**  
加19-Feb-18 賛SCA Wtoshinkagaku.co.jp A-
- ユニ・チャーム(株)**  
加12-Mar-17 賛SCA Wunicharm.co.jp/english/about/group/index. A○
- イエナ商事(株)**  
加26-Apr-18 賛SCA Wyehna.co.jp A-
- 油化産業(株)**  
加7-Dec-16 賛SCA Wyuika-sangyo.co.jp A-

## 小売業

- 日本生活協同組合連合会**  
加25-Oct-17 賛正会員 Wjccu.coop A-

## organization

- 池田物産(株)**  
加30-Mar-13 賛SCA Wikedacorp.co.jp A-
- 日本エマルジョン(株)**  
加6-May-15 賛SCA Wnihon-emulsion.co.jp A-
- テイカ(株)**  
加28-Jun-18 賛正会員 Wtayca.co.jp A○
- 東邦化学工業(株)**  
加29-Apr-13 賛SCA Wtoho-chem.co.jp A-

# 認証マークがついた商品を町のスーパーや薬局、コンビニで調査

持続可能なパーム油を使った商品を使いたいけど、どんなものがある、どこで買えるのとかよく聞かれます。認証油を使っている企業でも、入手困難、高価格などさまざまな事情で、すべてを認証油に切り替えられてはいないようです。実際に町に行き、一つずつ認証マークを確認してみました。

認証パーム油を使っているかどうかは、消費者は認証マークの有無で判断するしかありません（認証マークをつけていない認証油商品もありますが、日本ではごく少数です）。

RSPO認証マークは、アブラヤシのイラストの下の文字を見ると3種類あるとわかります。①認証（CERTIFIED）＝認証油だけで非認証油と混ざること

はありません。単独の農園の認証油をIdentify Preserved＝IP、複数の農園からの認証油はSegregation＝SGになります。②ミックス（MIXED）＝流通過程で認証油と非認証油が混ざります（マスマランス）が、認証油の数量は保障されています。③クレジット（CREDITS）＝認証油のクレジットを、生産者と消費財メーカーや小売がオンライン上で取

引できます（B&C：Book and Claim）。物理的な認証油ではありませんが、生産者の支援につながると考えられています。入手のしやすさや価格の点などからB&Cから始める企業が多いようです。

認証マーク付き商品を各社のサイトから探すのは大変ですが、EARTH MALL with Rakutenには認証パーム油製品のリストがあります。

## 入手できた認証マークつき商品

RSPO加盟企業が多い欧米や生産国であるマレーシア・インドネシアの商品を探せばすぐ見つかるだろうと、東京の輸入食料品を扱う大きなマーケットを5か所まわりましたが、見つけたのはパーム油だけでした。認証マークつき商品を作っている日本企業は、サラヤ（株）、太陽油脂（株）、（株）コープグリーン、玉の肌石鹸（株）、創健社（株）の5社でした。

### 玉の肌石鹸(株) タマノハダソープ オレンジ



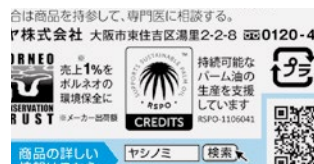
化粧石けん。125g。640円。東急ハンズで購入。認証マークはMIXED。

### 創建社 べに花 ハイプラスマーガリン



マーガリン。160g。334円。自然食品F&Fで購入。認証マークはMIXED。同社の発酵豆乳マーガリンも認証マークつき。

### サラヤ(株) ヤシノミ洗剤



台所用洗剤。500ml。398円。紀ノ国屋で購入。同社のパーム油・核油使用の消費者向け製品はすべて認証マークつき。

### 太陽油脂(株) バックスナチュロン ハンドソープ



ハンドソープ。500ml。972円。クロワッサンの店で購入。認証マークはMIXED。同シリーズにも認証マーク付き商品あり。

### (株)コープグリーン 液体セフター つめかえ用



洗濯用洗剤。800g。228円。コープみらいで購入。認証マークはCREDITS。

### 輸入元 イエナ商事(株) カロチーノ プレミアム



食用パーム油。500g。828円。KALDIで購入。原産国はマレーシア。認証マークはMIXED。

### Daelmans Banket StroopWafels



ワッフル。日本で購入したものではなく、オランダ土産にいただいたもの。認証マークはCERTIFIED。

※購入価格は税別

## Part 2

# 統計編

## CONTENTS-2

- 統計1 世界の油脂事情…P14～P15
  - 統計1-1 主要17油脂生産量(2017)
  - 統計1-2 5大植物油生産量変遷
  - 統計1-3 5大植物油輸出量変遷
  - 統計1-4 油糧作物別単収

- 統計2 パーム油…P16～P17
  - 統計2-1 パーム油の国別生産量(2017)
  - 統計2-2 パーム油の国別輸出量(2017)
  - 統計2-3 パーム油の国別輸入量(2017)
  - 統計2-4 日本のパーム油の用途別消費量(2015)

- 統計3 パーム核油…P18～P19
  - 統計3-1 パーム核油の国別生産量(2017)
  - 統計3-2 パーム核油の国別輸出量(2017)
  - 統計3-3 パーム核油の国別輸入量(2017)
  - 統計3-4 日本のパーム核油の用途別消費量(2015)

- 統計4 アブラヤシ栽培面積の変遷…P20～P21
  - 統計4-1 国別アブラヤシ収穫可能面積・単収(2017)
  - 統計4-2 インドネシアとマレーシアのアブラヤシ栽培面積変遷
  - 統計4-3 マレーシアの州別アブラヤシ栽培面積変遷
  - 統計4-4 大豆とアブラヤシの栽培面積変遷

- 統計5 日本…P22
  - 統計5-1 植物油別供給量(2017)
  - 統計5-2 植物油・大豆の輸入価格(2017)

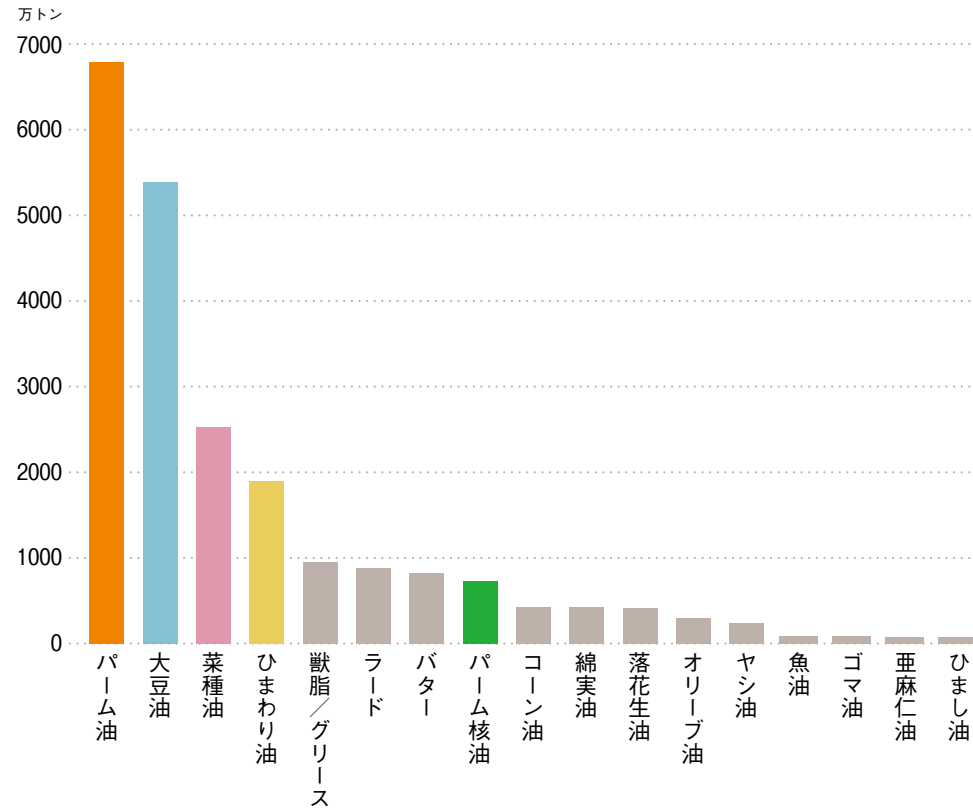
## 緑の回廊プロジェクト…P23



# 統計 1 世界の油脂事情

※小数点第2位で四捨五入しているため、小数点以下の合計がずれている場合があります。

統計 1-1 主要17油脂別生産量(2017)  
Source: Oil World Annual 2018

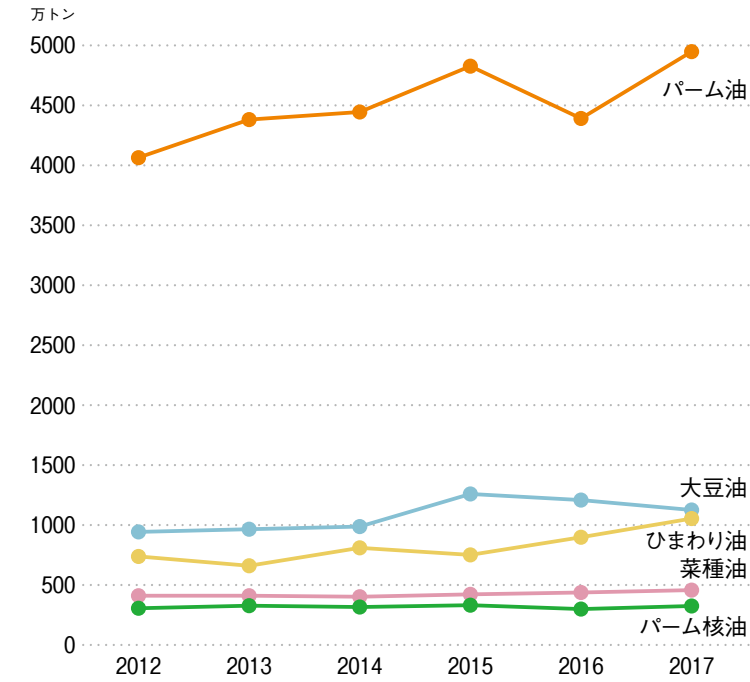


前年に比して、主要17脂の生産量は約2000万トン増えているが、増加分の約半分はパーム油とパーム核油で占められている。

単位: 万トン

種類	生産量
パーム油	6792.1
大豆油	5393.5
菜種油	2532.3
ひまわり油	1900.6
獣脂/グリース	950.8
ラード	878.2
バター	824.8
パーム核油	725.0
コーン油	430.6
綿実油	421.1
落花生油	414.0
オリーブ油	299.1
ヤシ油	244.1
魚脂	87.2
ごま油	83.1
亜麻仁油	75.3
ひまし油	74.5
合計	22126.3

統計 1-3 5大植物油輸出量変遷  
Source: Oil World Annual 2018

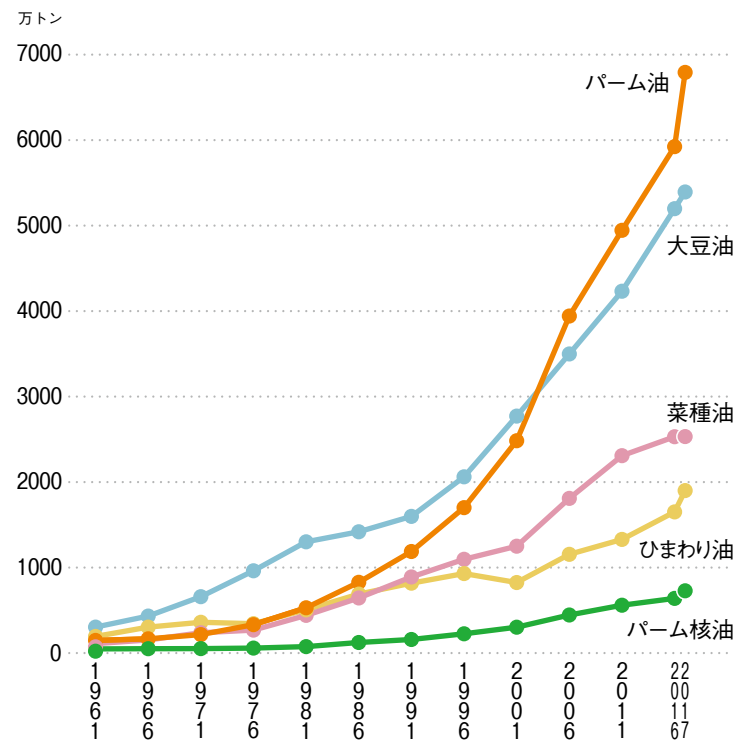


国際市場に出回る5大植物油の送料は約7900万トンだが、その約66%はパーム油とパーム核油である。

単位: 万トン

	パーム油	パーム核油	大豆油	菜種油	ひまわり油
2012	4064.7	306.0	942.7	410.5	738.3
2013	4381.6	327.3	965.2	410.6	660.3
2014	4444.9	316.2	987.2	402.1	809.9
2015	4827.1	331.6	1259.2	421.9	751.0
2016	4391.0	299.2	1208.3	437.4	898.2
2017	4948.4	324.9	1125.5	457.3	1054.1

統計 1-2 5大植物油生産量変遷  
Source: FAO STAT Date: 5.Nov.2018

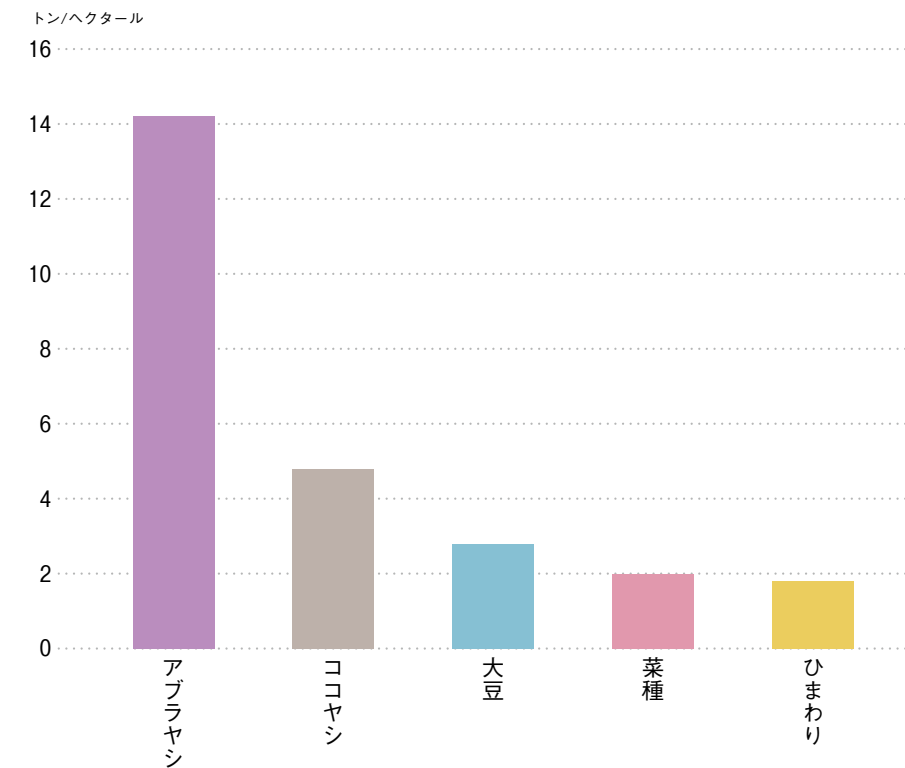


5大植物油の生産量全体はこの50年余りで約20倍にもなっている。増加量が多いのはパーム油で約40倍、次は大豆油で約25倍。

単位: 万トン

	パーム油	パーム核油	大豆油	菜種油	ひまわり油
1961	147.9	48.7	303.7	110.1	194.6
1966	166.6	51.0	432.7	153.2	303.4
1971	215.9	52.1	659.5	237.6	360.0
1976	332.2	58.2	962.5	268.4	343.7
1981	529.6	75.4	1301.2	440.9	505.3
1986	827.6	123.6	1418.7	644.5	689.8
1991	1187.9	158.8	1598.7	890.1	817.5
1996	1701.0	225.4	2061.6	1097.0	930.0
2001	2483.6	302.5	2771.8	1250.0	824.9
2006	3942.2	445.2	3498.7	1809.4	1154.9
2011	4945.0	559.6	4232.5	2308.9	1329.3
2016	5923.8	639.5	5198.1	2530.6	1651.1
2017	6792.1	725.0	5393.5	2532.3	1900.6

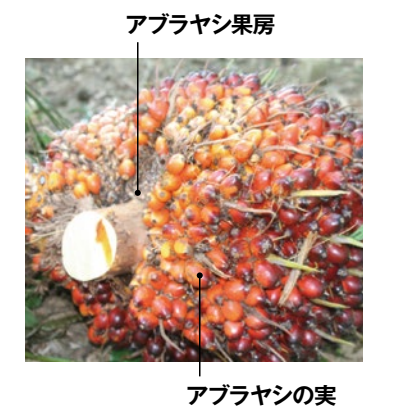
統計 1-4 油糧作物別単収  
Source: FAO STAT Date: 05.Nov.2018



グラフは油糧作物としての収穫量。油の含有量はアブラヤシは約20~30%、大豆が約20%、菜種が約40%といわれている。

単位: トン/ヘクタール

種類	収穫量
アブラヤシ	14.2
ココヤシ	4.8
大豆	2.8
菜種	2.0
ひまわり	1.8



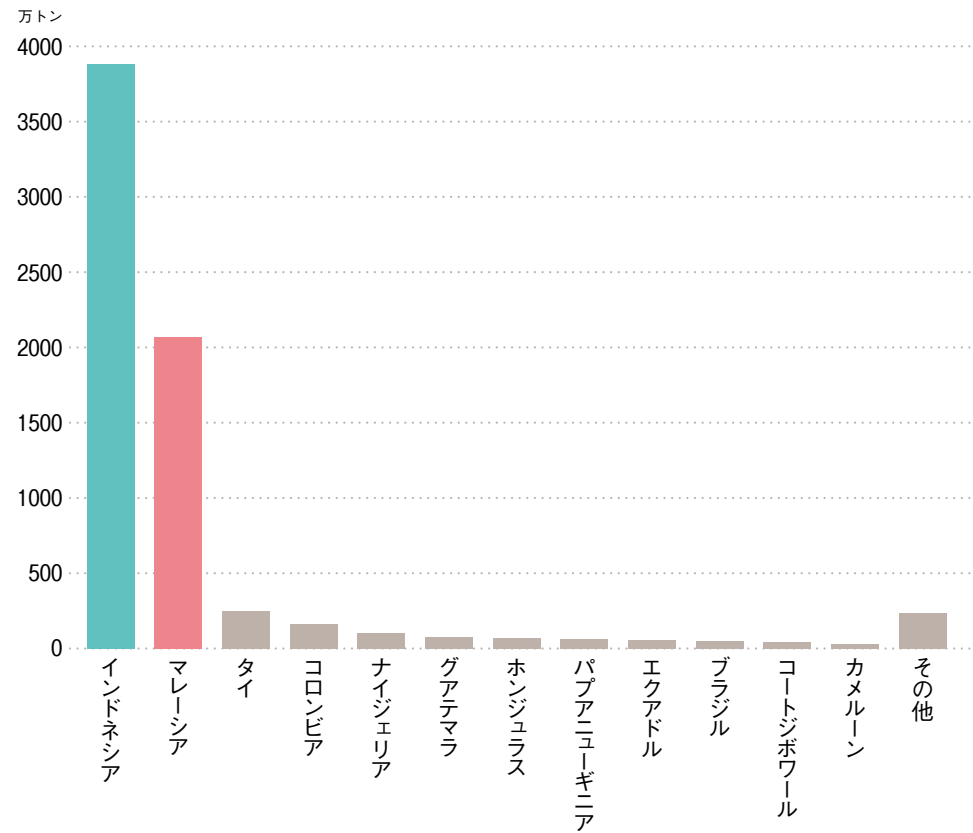


# 統計 2 パーム油

※小数点第2位で四捨五入しているため、小数点以下の合計がずれている場合があります。

## 統計 2-1 パーム油の国別生産量(2017)

Source : Oil World Annual 2018



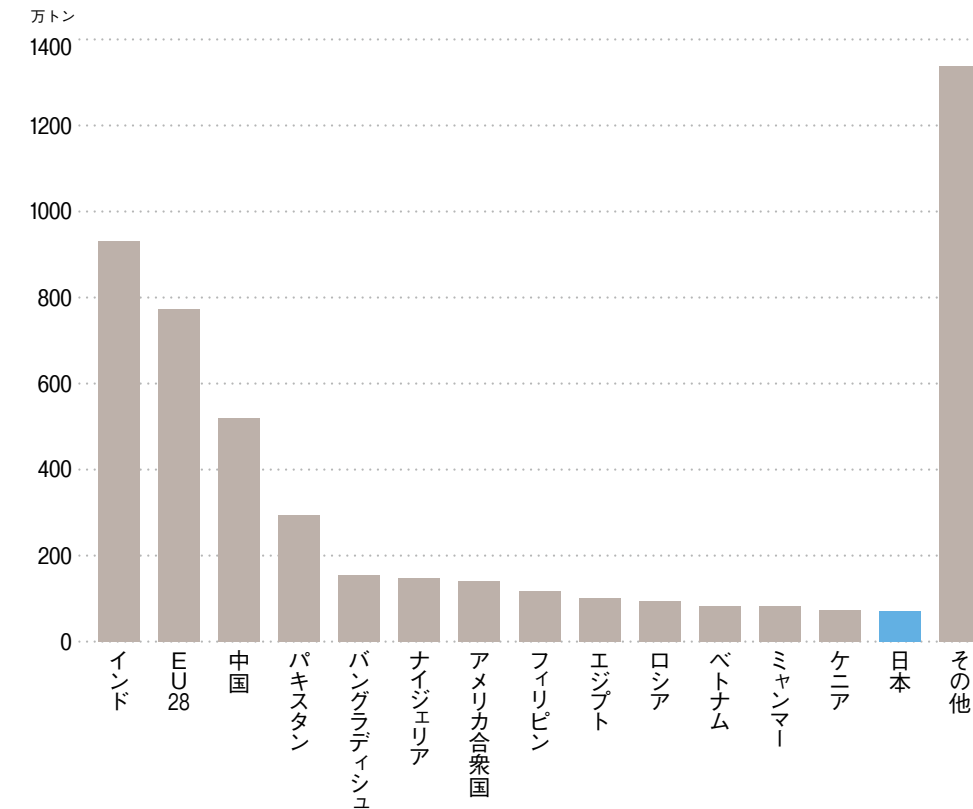
インドネシアは約670万トン、前年不作だったマレーシアも約340万トン、タイ約70万トンと各国とも前年に比して増加している。

国名	生産量
インドネシア	3880.0
マレーシア	2070.0
タイ	252.0
コロンビア	161.0
ナイジェリア	105.0
グアテマラ	75.0
ホンジュラス	71.5
パプアニューギニア	62.0
エクアドル	59.0
ブラジル	50.0
コートジボワール	42.0
カメルーン	26.9
その他	235.8
合計	7090.2

注：1-1の生産量と違うのは、統計を主計するときの1年の区切りが違うため。

## 統計 2-3 パーム油の国別輸入量(2017)

Source : Oil World Annual 2017



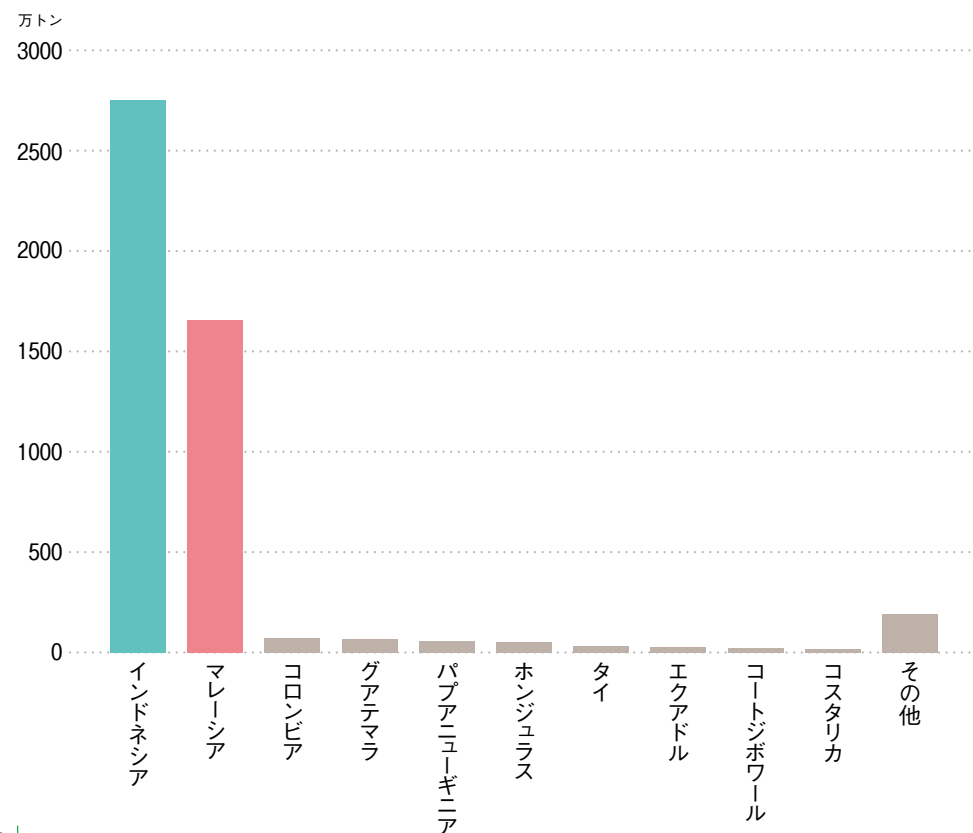
輸入総量は前年に比して約600万トン増加、そのうち、インドが約100万トン、中国が約60万トンを占めている。

国名	輸入量
インド	930.0
EU28	773.9
中国	519.6
パキスタン	293.9
バングラディッシュ	153.5
ナイジェリア	147.2
アメリカ合衆国	140.2
フィリピン	117.5
エジプト	100.2
ロシア	93.8
ベトナム	83.2
ミャンマー	82.8
ケニア	72.6
日本	70.8
その他	1339.1
合計	4918.0

注：EUは国別ではなく28国の合計量で表記している。

## 統計 2-2 パーム油の国別輸出量(2017)

Source : Oil World Annual 2018

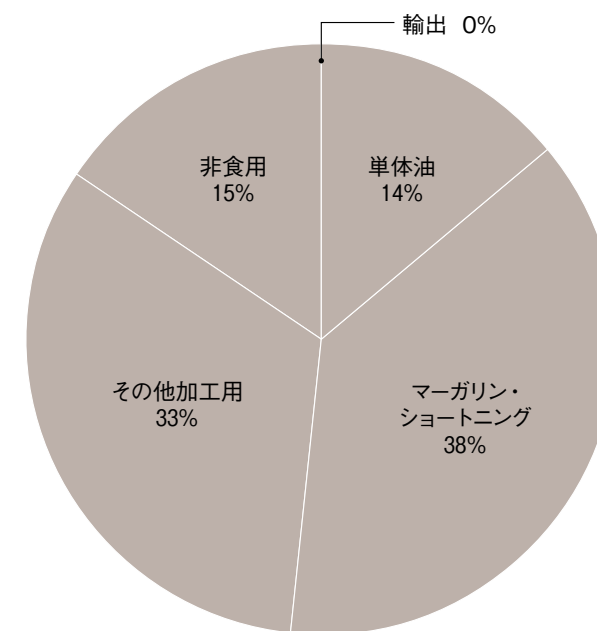


輸出量の56%をインドネシア、33%をマレーシアが占める。インドネシアは自国生産の71%、マレーシアは80%を輸出している。

国名	輸出量
インドネシア	2752.4
マレーシア	1656.0
コロンビア	73.0
グアテマラ	68.2
パプアニューギニア	57.5
ホンジュラス	54.0
タイ	31.6
エクアドル	28.5
コートジボワール	20.0
コスタリカ	17.6
その他	189.5
合計	4948.3

## 統計 2-4 日本のパーム油の用途別消費量(2015)

Source : 我が国の油脂事情2016年



日本のパーム油輸入量は年々増えている。この使用用途の統計は2015年度のものである。

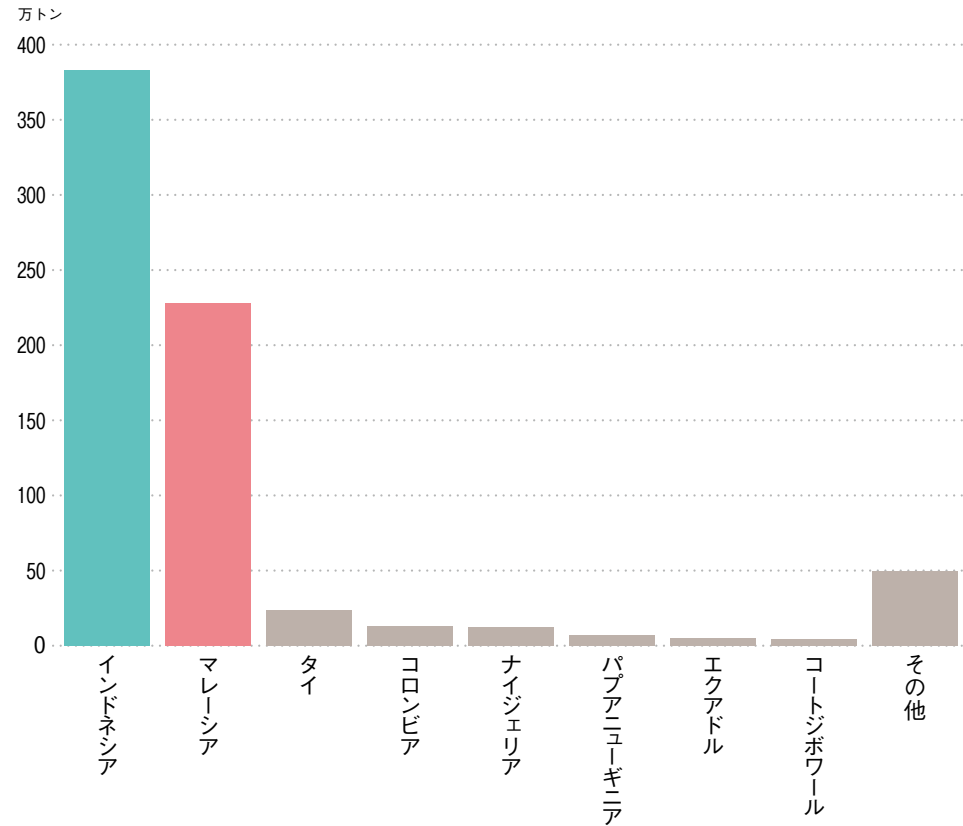
種類	消費量
単体油	9.4
マーガリン・ショートニング	25.0
その他加工用	21.8
非食用	10.2
輸出	0.0
合計	66.4

注：「我が国の油脂事情」(農林水産省)は例年11月ごろ刊行されるが、2016年11月以降刊行されていないので、これが最新版となる。

# 統計 3 パーム核油

※小数点第2位で四捨五入しているため、小数点以下の合計がずれている場合があります。

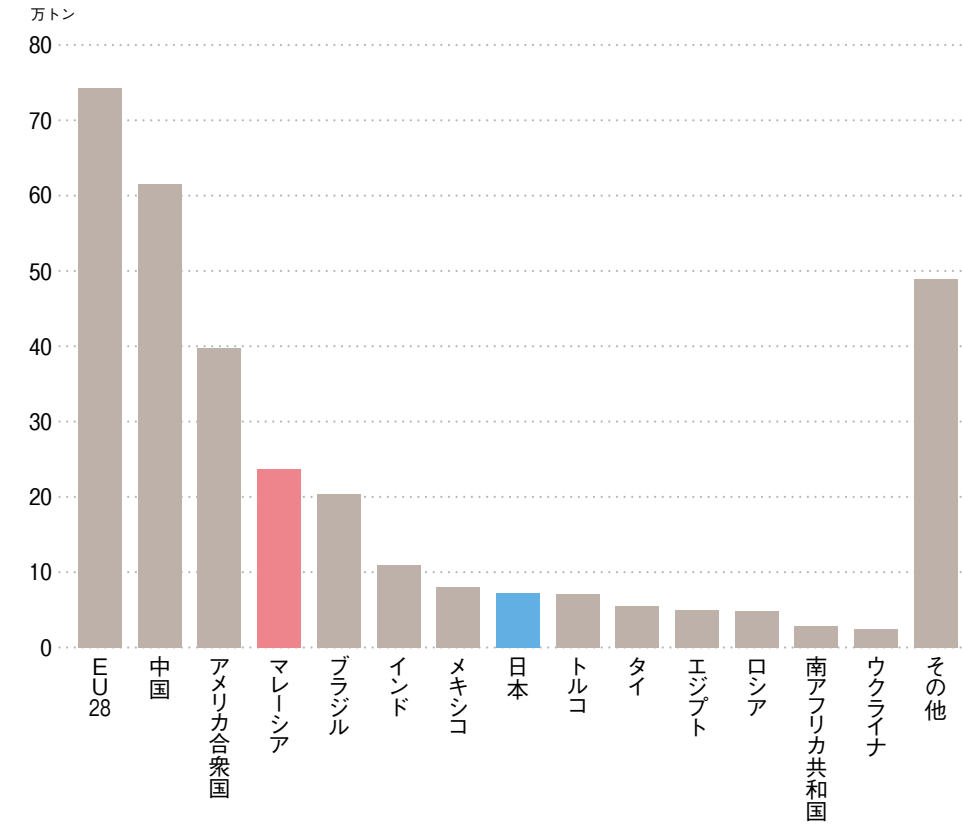
統計 3-1 パーム核油の国別生産量(2017)  
Source: Oil World Annual 2018



パーム核油は、前年に比して約90万トン増加。インドネシアは約40万トン増加、2016年不作だったマレーシアも増加している。

国名	生産量
インドネシア	383.0
マレーシア	228.1
タイ	23.4
コロンビア	13.3
ナイジェリア	12.0
パプアニューギニア	6.7
エクアドル	5.0
コートジボワール	4.2
その他	49.4
合計	725.1

統計 3-3 パーム核油の国別輸入量(2017)  
Source: Oil World Annual 2018

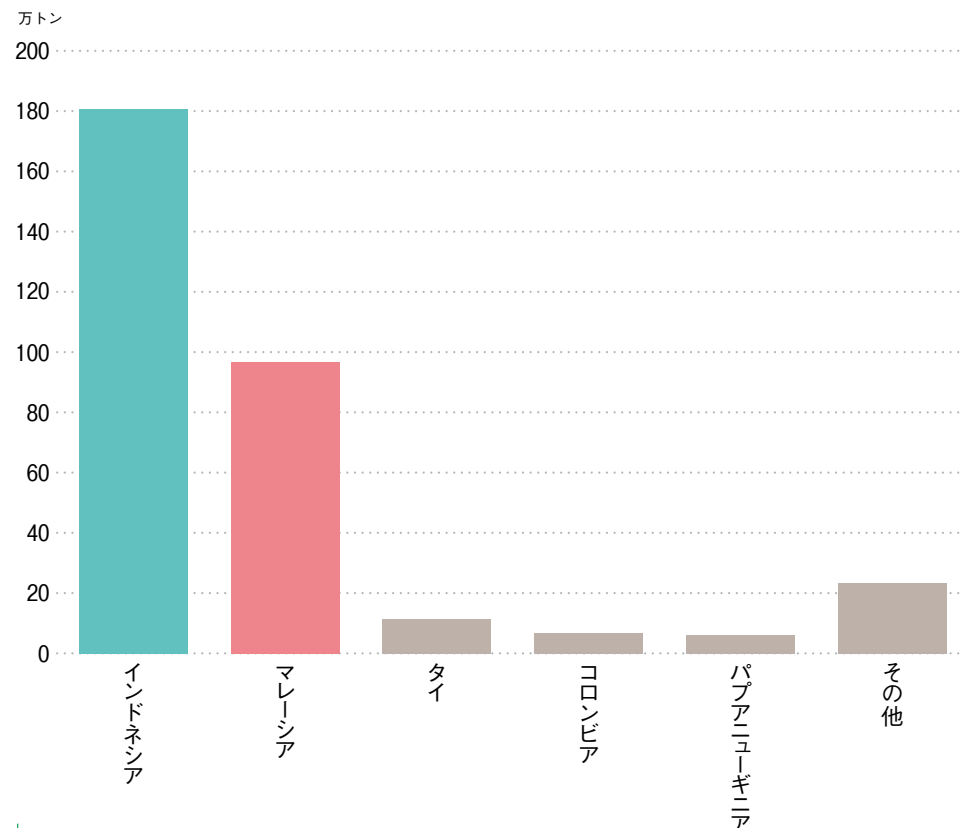


EU28が国で輸入量の約23%、中国が約19%、アメリカ合衆国が約12%を占める。マレーシアは輸出国でも輸入国でもある。

国名	輸入量
EU28	74.3
中国	61.6
アメリカ合衆国	39.8
マレーシア	23.7
ブラジル	20.4
インド	10.9
メキシコ	8.0
日本	7.2
トルコ	7.1
タイ	5.5
エジプト	5.0
ロシア	4.8
南アフリカ共和国	2.8
ウクライナ	2.5
その他	48.9
合計	322.5

注: EUは国別ではなく28か国の合計量で表記している。

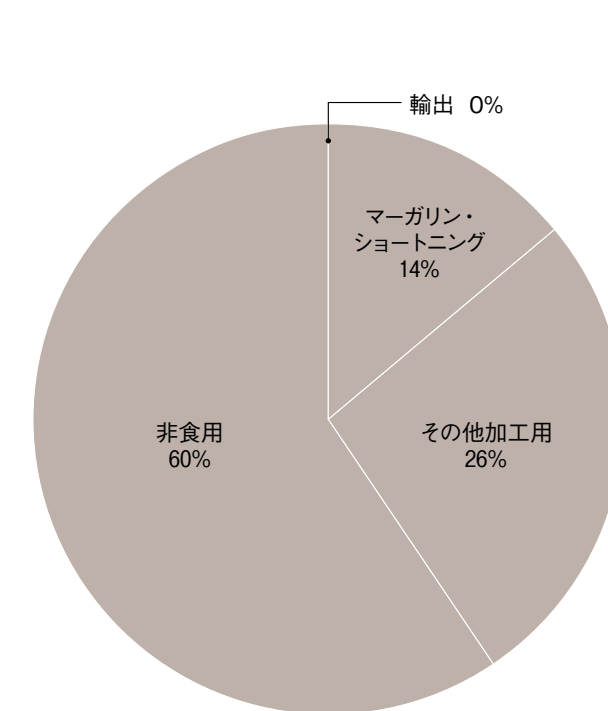
統計 3-2 パーム核油の国別輸出量(2017)  
Source: Oil World Annual 2018



生産量の約45%が輸出に回されている。インドネシアは約56%を輸出、マレーシアは約42%を輸出する一方で輸入もしている。

国名	輸出量
インドネシア	180.6
マレーシア	96.7
タイ	11.5
コロンビア	6.8
パプアニューギニア	6.0
その他	23.3
合計	324.9

統計 3-4 日本のパーム核油の用途別消費量(2015)  
Source: 我が国の油脂事情2016年



日本のパーム核油輸入量は2015年と比すと漸減している。この使用用途の統計は2015年度のものである。

種類	消費量
マーガリン・ショートニング	1.5
その他加工用	2.8
非食用	6.3
輸出	0.0
合計	10.6

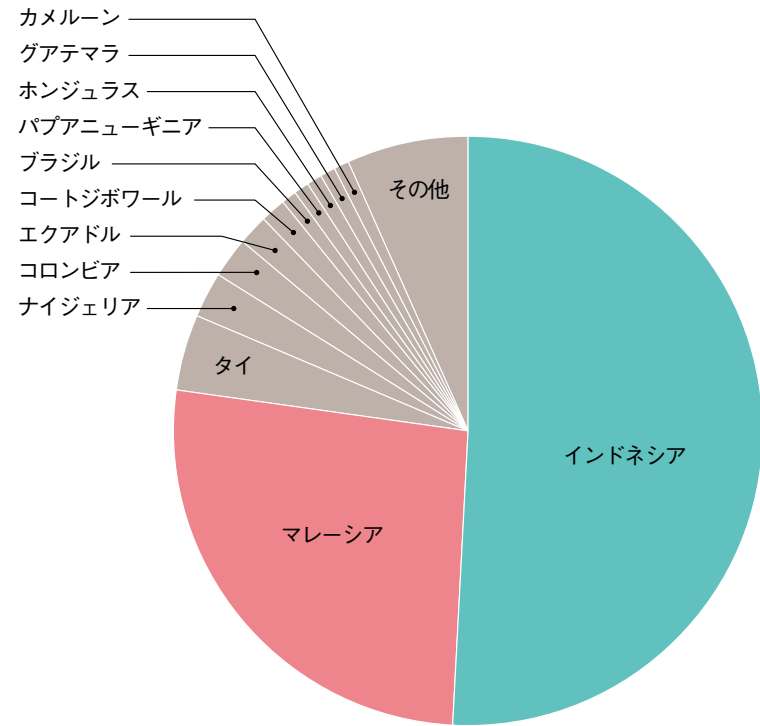
注:「我が国の油脂事情」(農林水産省)は例年11月ごろ発行されるが、2016年11月以降発行されていないので、これが最新版となる。



# 統計4 アブラヤシ栽培面積の変遷

※小数点第2位で四捨五入しているため、小数点以下の合計がずれている場合があります。

統計4-1 国別アブラヤシ収穫可能面積・単収(2017)  
Source: Oil World Annual 2018



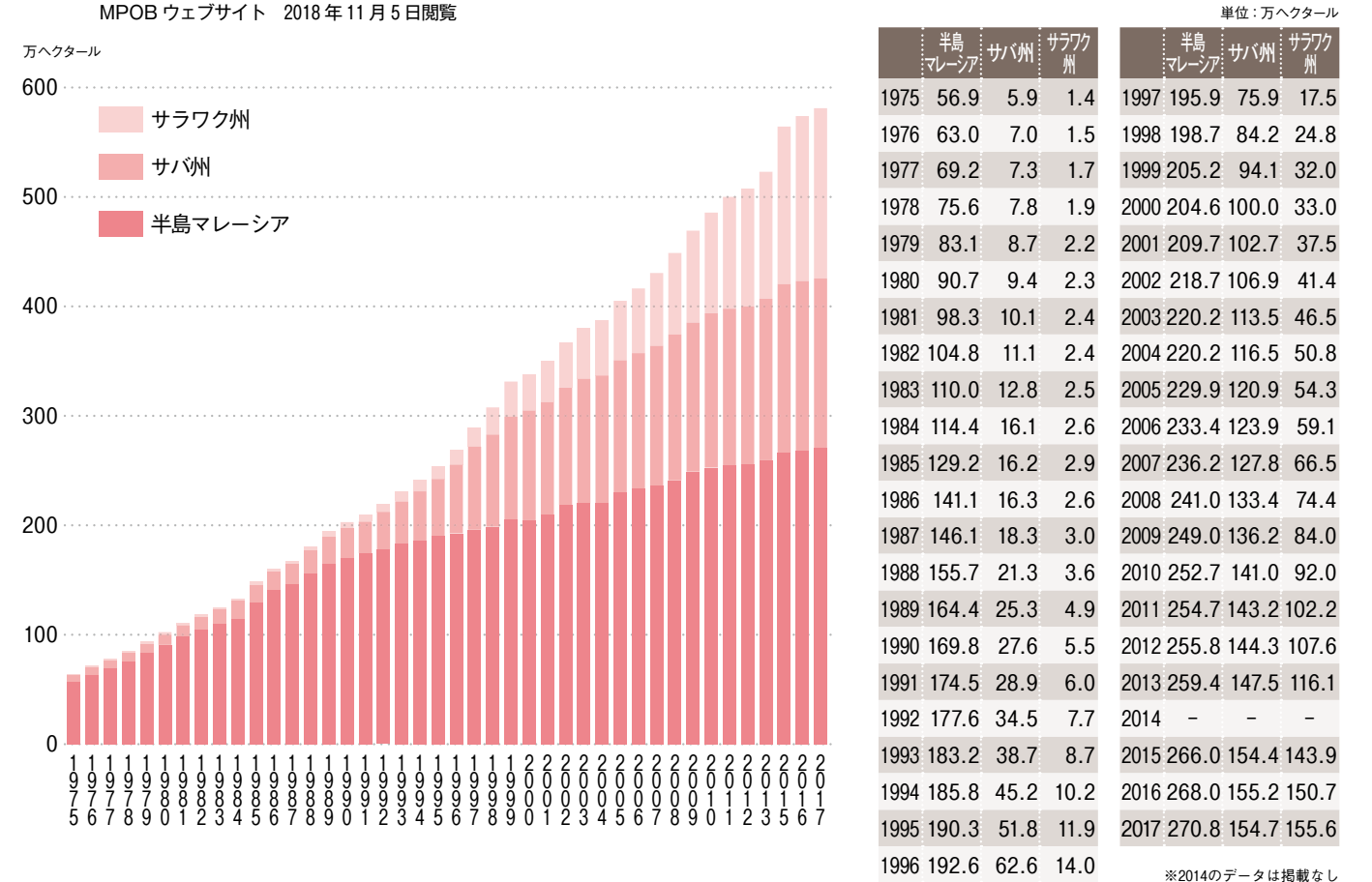
収穫可能面積は前年に比して約150万ha増えている。単収はグアテマラ、ホンジュラスは高水準だが、各国かなり差がある。

単位: 万ヘクタール トン/ヘクタール

国名	栽培可能面積	単収
インドネシア	1003.0	3.87
マレーシア	516.0	4.01
タイ	84.0	3.00
ナイジェリア	50.0	2.10
コロンビア	44.5	3.62
エクアドル	30.0	1.97
コートジボワール	28.1	1.49
ブラジル	16.8	2.98
パプアニューギニア	16.8	3.69
ホンジュラス	16.5	4.33
グアテマラ	15.8	4.75
カメルーン	14.9	1.81
その他	130.3	1.81
合計/平均	1966.7	3.61

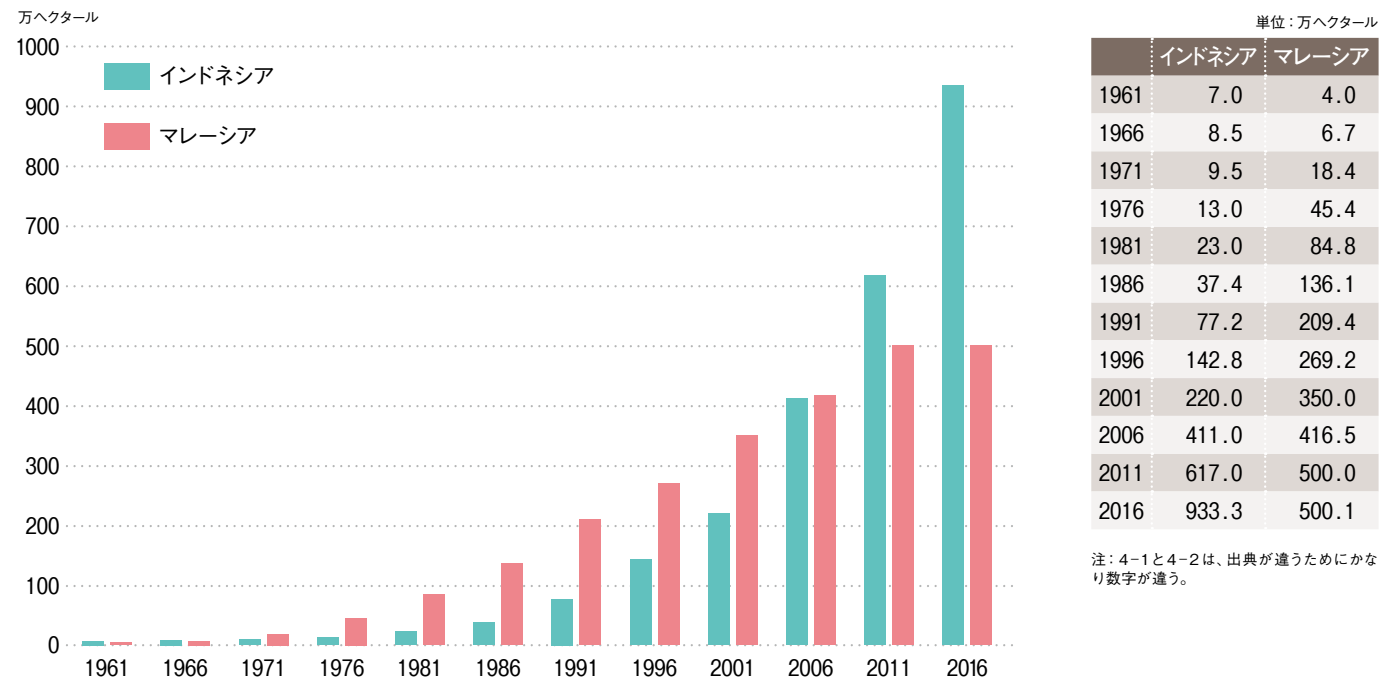
統計4-3 マレーシアの州別アブラヤシ栽培面積変遷  
Source: Department of Statistics, Malaysia: 1975-1984  
Source: MPOB: 1985-2016  
MPOB ウェブサイト 2018年11月5日閲覧

栽培面積はマレーシア全体で580万haを超えた。中でもこの5年ぐらいサラワク州の伸びは大きくサバ州を追い抜いた。



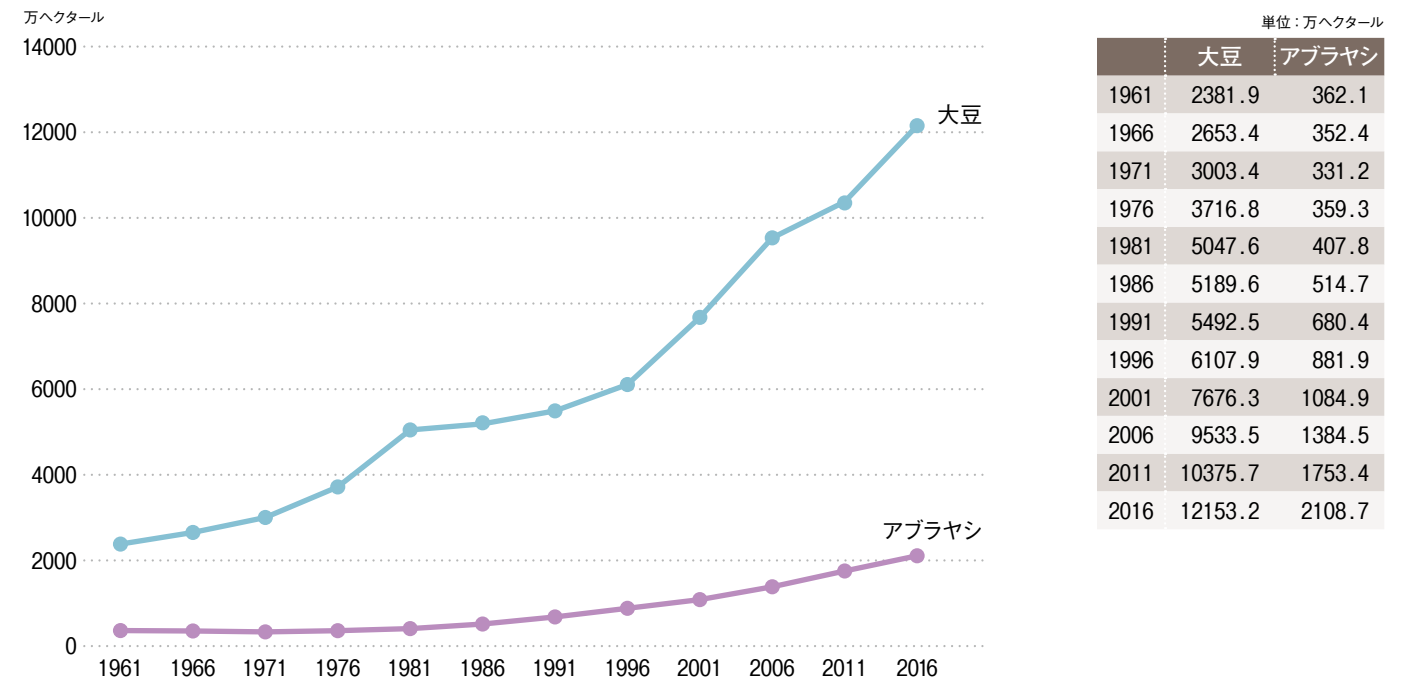
統計4-2 インドネシアとマレーシアのアブラヤシ栽培面積変遷  
Source: FAO STAT Date: 10.Oct. 2018

インドネシアの伸びは著しく、2000年代にマレーシアに並んだ後も急速に増加している。マレーシアも少しずつ増えている。



統計4-4 大豆とアブラヤシの栽培可能面積の変遷  
Source: FAO STAT Date: 5.Nov.2018

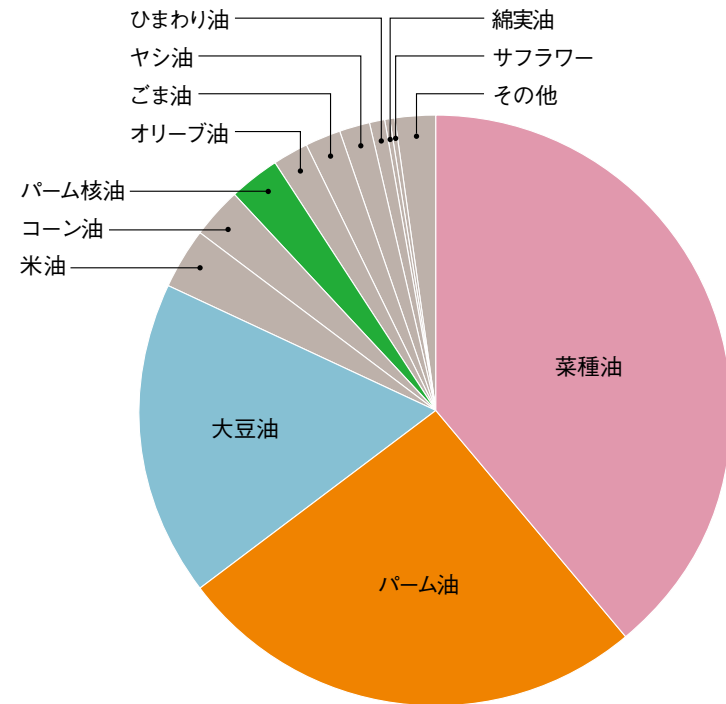
大豆の栽培面積は約1.2億haでアブラヤシの約6倍である。50年前に比して大豆は4.6倍、アブラヤシは約6倍に増大した。



※小数点第2位で四捨五入しているため、小数点以下の合計がずれている場合があります。

## 統計 5-1 植物油別供給量 (2017)

Source: 日本植物油脂協会サイトより(資料: 農林水産省「油糧生産実態調査、財務省「貿易統計」)



前年までは植物油別消費量だったが今回は植物油別供給量なので単純比較はできない。菜種油、パーム油、大豆油の順位は不動。

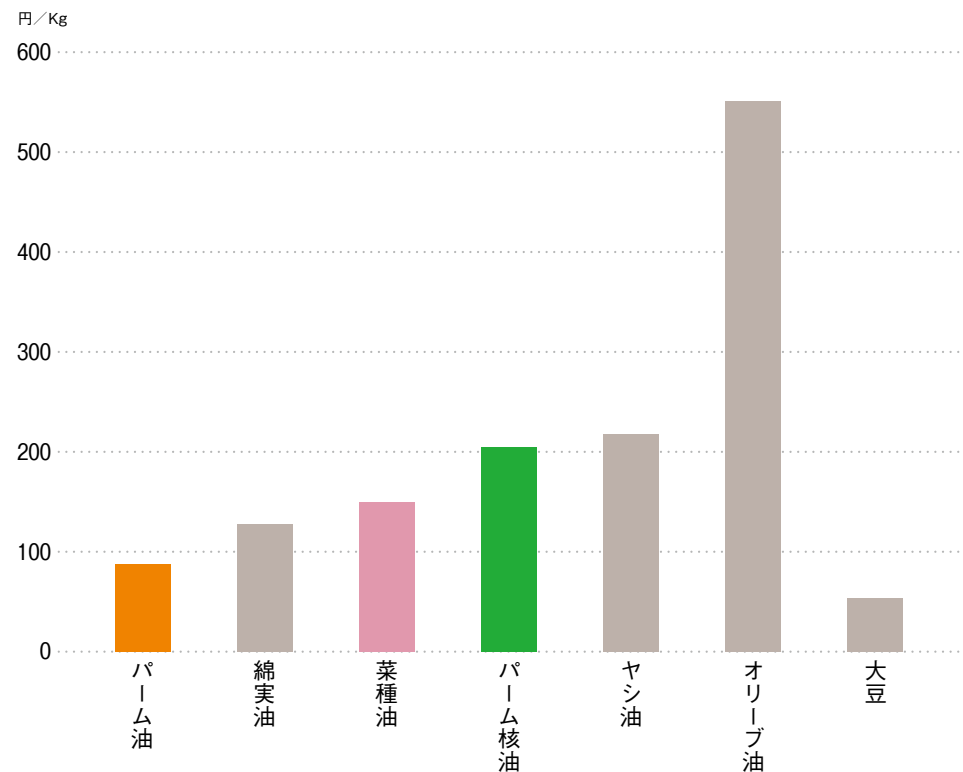
単位: 万トン

種類	消費量
菜種油	107.5
パーム油	70.8
大豆油	48.0
米油	9.0
コーン油	7.8
パーム核油	7.2
オリーブ油	5.7
ごま油	5.4
ヤシ油	4.2
ひまわり油	2.4
綿実油	0.7
サフラワー	0.6
その他	6.1
合計	275.4

注: 「我が国の油脂事情」(農林水産省)は例年11月ごろ発行されるが、2016年11月以降発行されていないので、他のデータを引用した。

## 統計 5-2 植物油・大豆の輸入価格 (2017)

Source: 財務省貿易統計(輸入)



大豆は大豆そのものの輸入価格なので単純比較はできない(大豆の油含有量は約20%)。パーム油はあきらかに安価である。

単位: 円/Kg

種類	輸入価格
パーム油	87.5
綿実油	128.1
菜種油	149.6
パーム核油	204.9
ヤシ油	217.6
オリーブ油	550.9
大豆	53.9

注: 「我が国の油脂事情」(農林水産省)は例年11月ごろ発行されるが、2016年11月以降発行されていないので、他のデータを引用した。

# 緑の回廊プロジェクト

ボルネオ保全トラスト・ジャパンは、生物多様性保全のために、現地のサバ州野生生物局(SWD)、ボルネオ保全トラスト(BCT)とともに、緑の回廊プロジェクト、恩返しプロジェクト(ボルネオゾウを中心とした野生動物の保全活動)、環境教育などの活動を行っています。

ボルネオ島北部に位置するマレーシア国サバ州では1960年代後半に始まった森林伐採や1990年代から急激に増加したアブラヤシプラテーションの開発によって200万haを超える熱帯雨林が消滅。ボルネオオランウータン、ボルネオゾウ、テングザルといった固有種を含む野生動物は生息域を失い個体数も激減しました。生物多様性の宝庫と呼ばれるボルネオ、サバ州最大の大河キナバタンガン川下流域の野生動物保護区は、プランテーションの開発で分断されました。動物たちが狭い地域に閉じ込められたまま世代交代

していけば、遺伝子多様性の減少という問題も起きてきます。ボルネオ保全トラスト(BCT)はかつてこの地域で提唱された Corridor of Life 計画に倣い、「キナバタンガン川下流域の熱帯雨林をつなぐ」構想のもと『Green Corridor (緑の回廊) Project』を2006年にサバ州で立ち上げました。キナバタンガン川流域の保護区と保護区間の土地を確保して森をつなぎ、細く長い森(緑の回廊)を未来に残そうというのがそのコンセプトです。2008年には日本でBCTJが設立され、

資金調達活動をスタート。法人、個人のみなさまからの寄付金や「200円の寄付でたまたみ1畳分の森を動物たちに」が合言葉のチャリティカンパジ募金によってこれまでに1億円を超える支援金が集まり、流域沿いに約86haの土地を獲得しました。とはいえ目標達成までは長い道のりです。生物多様性の保全は地球規模、人類共通の課題です。私たちは今後もボルネオの生物多様性保全に全力で取り組みます。ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

## 完成予想図と現段階(2018.11)までの取得地

